令和７年度事業報告書

公益財団法人　神奈川芸術文化財団

Ⅱ　令和７年度事業報告及び附属明細書

○公益財団法人神奈川芸術文化財団（以下「財団」という。）は、財団の経営方針に基づき、財団が神奈川の芸術文化の創造と振興にさらに力を発揮していくため令和３年に定めた「理念」及び「ミッション」をのもと、引き続き指定管理業務や法人運営業務を実施した。（「理念」及び「ミッション」は巻末に参考資料として記載）

○指定管理業務においては、第４期（令和３年度～令和７年度）の指定管理者選定経緯を踏まえ、神奈川県民ホール（以下「県民ホール」という。）、KAAT神奈川芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）、神奈川県立音楽堂（以下「音楽堂」という。）の３館の指定管理者として、その５年目においても、多彩な芸術文化事業や施設管理運営業務を適切に実施した。

○芸術文化事業では、ミッション「創造に挑む」を踏まえた事業として９事業／13演目（99公演）・５企画（５回）・３展覧会（入場者数等46,640人）を実施した。またミッション「感動を分かち合う」を踏まえた事業として、18事業／64演目（171公演）・15企画（44回）・１展覧会（入場者数等50,200人）を実施した。 またミッション「つねに考える」を踏まえた事業として、５事業／12演目（21公演）・13企画（15回）（入場者数等3,732人）を実施した。またミッション「未来につなぐ」を踏まえた事業として、17事業／９演目（28公演）・30企画（32回）・１展覧会（入場者数等10,506人）を実施した。

その他、神奈川県受託事業において、３事業／３演目（６公演）（入場者数等5,131人）を実施した。

○令和３年度より財団本部に立ち上げた社会連携ポータル部門では、引き続き、専門人材育成プログラム、学校教育へのアプローチ、あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ、地域との連携を強化する機能の４つのアプローチを中心として、各施設と協働しながら様々な取組を展開した。また、「共生共創事業」を神奈川県から受託し、高齢者・障がい者等による芸術活動への支援を行うなど県域の文化事業にも積極的に取り組んだ。

○芸術文化に関する情報の収集提供として、情報誌「神奈川芸術プレス」を発行し、３館や県域の文化情報を紹介するとともに、ホームページ・SNSの運営を行った。

○令和７年７月に新システム・ネットワーク環境の稼働を開始。令和８年２月４日、これまでの情報セキュリティ規程を廃止し、財団の情報セキュリティ対策について総合的、体系的かつ具体的に取りまとめ、組織内の意思統一を図ることを目的とした、情報セキュリティポリシーを制定した。今後も情報セキュリティ体制の強化を継続的に取り組んでいく。

【令和７年度に実施した指定管理事業（統計）】※指定管理事業＝主催・共催・提携公演（他所での巡回公演等も含む）

施設名	事業	演目	公演	企画	回	展覧会	入場者数（人）
県民ホール	15	18	28	9	9	3	14,149
芸術劇場	22	43	245	42	75	2	72,201
音楽堂	12	37	46	12	12	0	24,728
合計	49	98	319	63	96	5	111,078

１．芸術文化事業 公１

（１）県民ホール

・県民ホールが実施した芸術文化事業は15事業／18演目（28公演）・９企画（９回）・３展覧会であり、入場者数等は14,149人であった。
・昭和50年に開館した県民ホールは令和７年４月から休館しているが、これまでの実績を活かし、神奈川県全域で、多彩なジャンルの公演、展覧会、講座等を実施した。
・市民オペラの草分けである藤沢市民オペラと初めて連携し、モーツァルトのオペラ「羊飼いの王様」を演奏会形式にて上演した。作品および出演者の選定段階から、藤沢市民オペラ芸術監督の園田隆一郎氏らと協働し、両団体が一体となって創作に取り組む体制を構築した上で、公演を実施した。上演機会の少ない作品であることから、集客面での課題が想定されたが、森麻季、砂川涼子といった国内を代表するオペラ歌手の起用に加え、注目度の高い若手俳優を登用したことにより、質の高い上演を実現し、来場者から高い評価を得た。結果として、2日間で1,500人以上の来場者を記録し、県域展開事業におけるオペラ公演として着実な実績を残した。
・「Ｃ×（シー・バイ）」シリーズの新企画として、「C×JAZZ（シー・バイ・ジャズ）」シリーズを新たに展開し、神奈川出身のジャズ・ピアニスト兼作曲家である壷阪健登の新作とデューク・エリントンの作品を対比させたジャズ公演を開催した。「C×バロック（シー・バイ・バロック）」では、大塚直哉音楽監督率いるアンサンブルが県民ホール所蔵のチェンバロを用いた演奏を行い、聴衆から高い評価を得て、シリーズの締めくくりに相応しい成果を収めた。
・そのほか、21年ぶりの来日となるイギリスの合唱団The Sixteenを招聘し、指揮者ハリー・クリストファーズによる高水準の演奏を県民に提供した。加えて、三世代で楽しめるプログラム構成による神奈川フィルハーモニー管弦楽団の公演や、オルガン・アドバイザー中田恵子による県内のパイプオルガンを活用したコンサートを実施し、県民が多様なジャンルの文化芸術に触れる機会の創出に寄与した。
・リーディングドラマ「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」を上演は「移動に適した簡素な設え」、「県民の多様性および幅広い世代に受け入れられる内容」、「表現としての強度」、「各地の公共劇場と連携した事業展開」を主な目標として設定し、児童文学作品でありながら大人も楽しめる舞台作品を創造した。白石加代子および大原櫻子を起用し、コンテンポラリーダンスを交えて高い公演品質を確保し、神奈川県内４か所を含む全国12か所において展開した。これまで自館中心で実施してきた事業形態とは異なり、他館での開催かつ新たなジャンルへの取り組みという試みであったが、継続的かつ戦略的な広報活動を実施した結果、一定の成果を上げた。さらに、英国の「マザーグース」を歌と古楽器の演奏および絵本仕立ての映像とともに楽しむ音楽絵本「奇妙なマザーグースの話」については、０歳から入場可能とし、親子で鑑賞できる機会を創出した。
・新たなジャンルである「ロック」をテーマとし、地元バンドの起用や地域イベントとの連携による事業を実施した。あわせて、キッチンカーの出店等により、にぎわいの創出にも取り組んだ。初めて扱うジャンルであることから、運営面において円滑に進まない点や改善を要する事項も見受けられたが、新たな観客層の獲得や地域ニーズの把握につながるなど、有意義な成果を得ることができた。また、写真家・浅田政志が地元住民や風景を撮り下ろした写真展「カナガワ　ポト

ガラヒー 出張浅田撮影局」を開催した。その関連企画として、次年度実施に向けた撮影場所の検討ワークショップを実施し、地域住民とともに候補地を検討することで、地域資源への理解を深める機会の創出につなげた。

・リニア中央新幹線「神奈川県駅（仮称）」の工事現場を活用したイベント「さがみはらリニアフェスタ2025」への参加公演として、地下空間における演奏会を実施した。天候不良により途中で中止となったものの、特殊な環境下における公演運営に関する知見を蓄積する機会となり、今後の事業展開に資する経験を得た。

神奈川県美術展は、公募展を休止し、60周年を記念した展覧会や中高生展、トークイベント等を開催し、次年度以降の新たな展開に向けた基盤形成につなげた。

・このほか、音楽家と漫画家によるトーク＆コンサートの実施や、次世代の合唱指揮者を志す人材育成の一環として、The Sixteenの指揮者ハリー・クリストファーズによるマスタークラスを開催し、専門的かつ実践的な指導機会を提供した。さらに、日本語支援拠点施設において来日間もない外国にルーツを持つ子どもたちを対象に、言語に依存しない形で音楽の楽しさを伝えるプログラムを提供するなど、多様な層への文化芸術の普及に寄与した。

・さらに、昨年度に引き続き社会連携ポータル部門と連携し、インターンシップの受入れを実施した。今年度は県域展開事業を題材とし、制作・広報・チケット販売に関する実務を学ぶ機会を提供するとともに、実際の県域公演の視察機会を設けることで、実践的な人材育成の推進につなげた。

・神奈川県受託事業として、バレエ公演「ジゼル」を実施した。会場となった神奈川県立相模湖公園野外特設ステージにおいては、天候にも恵まれ、満席の来場者が湖を背景とした舞台芸術の魅力を享受する機会となり、野外公演ならではの価値を創出した。また、「ファンタスティック・ガラコンサート」は小田原および鎌倉の２会場にて実施し、県民ホールの恒例事業として定着する中、多くの来場者に対し、オーケストラとバレエによる質の高い舞台芸術を提供した。さらに、野外で開催する移動型演奏会「どこでも音楽便」を県内３か所（神社、はらっぱ、港）において実施し、クラシックや童謡、地元バンドによる演奏など、各会場の特性を生かした多様なプログラムを展開した。これにより、子どもから大人まで幅広い層が身近な場所で音楽に親しむ機会を創出し、文化芸術の裾野の拡大に寄与した。

藤沢市民オペラ連携事業　オペラシリーズ
モーツァルト オペラ《羊飼いの王様》全２幕
（演奏会形式／イタリア語上演・日本語字幕付）
令和７年 11 月８日(土)～11 月９日(日)
藤沢市民会館大ホール
撮影：阿部章仁

■ミッション「創造に挑む」

［３事業／４演目（８公演）・３企画（３回）／２展覧会 入場者数等5,013人］

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
① 11月８日(土) ② 11月９日(日)	藤沢市民会館 大ホール	藤沢市民オペラ 連携事業 オペラシリーズ モーツァルト オペラ《羊飼いの王様》 全２幕（ 演奏会形式／ イタリア語上演・日本語字幕付） ※出演者によるアフタートークあり	① 792 ② 786
８月19日(火)	藤沢市民会館 第１展示集会 ホール	藤沢市民オペラ 連携事業関連企画 みらいサマースクール楽器体験	30
９月13日(土)	寒川町民センター	藤沢市民オペラ 連携事業 関連企画 歌って、弾いて、お話しして ～ご存じ青島広志先生のモーツァルト・レクチャー ～	275
10月15日(水)	横須賀芸術劇場 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット	藤沢市民オペラ 連携事業 関連企画 砂川涼子＆園田隆一郎 デュオ・コンサート ～モーツァルトを旅する午後～	211
① 11月27日(木) ② 11月28日(金) ③ 11月29日(土) ④ 11月30日(日)	① 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール ② ラゾーナ川崎プラザソル ③ 三浦市民ホール ④ 葉山町福祉文化会館	C × JAZZ 壷阪健登 × デューク・エリントン	① 311 ② 151 ③ 136 ④ 238
① 12月８日(月) ～12月25日(木) ② 12月６日(土) ～12月21日(日)	① 開成町役場 １階 町民プラザ ② たけや(旧大道クリニック)	カナガワ ポトガラヒー 出張浅田撮影局 開成編・真鶴編	① 1,470 ② 593
① 12月４日(木) ② 12月６日(土)	① 箱根町立郷土資料館学習室 ② なかい里都まち♡CAFE	カナガワ ポトガラヒー 出張浅田撮影局関連企画 箱根編・中井編 写真家 浅田政志 トーク＆作戦会議	① 10 ② 10

■ミッション「感動を分かち合う」

［６事業／８演目（13公演）入場者数等4,616人］

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
① ４月19日(土) ② ４月20日(日)	神奈川県立青少年センター 紅葉坂ホール	リーディングドラマ 『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』	① 479 ② 456
11月22日(土)	相模女子大学グリーンホール 大ホール	グリーンホール相模大野開館35周年記念 The Sixteen（ハリー・クリストファーズ 指揮）	788
① ８月11日 (月・祝) ② ８月24日(日)	① 伊勢原市民文化会館 大ホール ② 南足柄市文化会館（愛称：金太郎みらいホール） 大ホール	神奈川フィルハーモニー管弦楽団と巡る 県内オーケストラコンサート	①957 ②637
C x Organ			
① ８月２日(土) ② ８月９日(土) 令和８年 ③ ２月７日(土)	① フェリスホール（フェリス女学院大学山手キャンパス） ② 茅ヶ崎恵泉教会 ③ 秦野聖ルカ教会	① パイプオルガンを訪ねる旅 in横浜 夏休み、フェリスホールのオルガンを知ろう！ ② パイプオルガンを訪ねる旅 in茅ヶ崎 夏休み、茅ヶ崎恵泉教会のオルガンを知ろう！ ③ パイプオルガンを訪ねる旅 in 秦野 中田恵子 オルガンコンサート	① 207 ② 112 ③ 113 （２回公演
３月20日 (金・祝)	横浜みなとみらいホール 小ホール	C × Baroque 大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol.５ コンチェルトとソナタ ～バロックの申し子たちの成長とその先	387
① ９月27日(土) ② ９月28日(日) ③ 12月21日(日)	① 松田町生涯学習センター 大ホール ② 清川村生涯学習センター せせらぎ館 みどりホール ③ 戸塚区民文化センター さくらプラザ・ホール	音楽絵本『奇妙なマザーグースの話』 ～「怖い」「奇妙」な歌で元気になる⁉～	① 112 ② 92 ③ 276

■ミッション「つねに考える」

［２事業／５演目（５公演）・１企画（１回） 入場者数等1,078人］

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
① ９月６日(土) ② 12月23日(火) 令和８年 ③ １月23日(金) ④ ２月14日(土) ⑤ ２月23日 （月・祝）	① 愛川町文化会館 ホール ② 大和市文化創造拠点シリウス１ 階芸術文化ホール サブホール ③ イオンシネマ座間 10スクリーン ④ 大井町生涯学習センター ⑤ 山北町立生涯学習センターホール	KANAGAWA ロックサーキット 「語り継ぐロックの伝説」 ① All You Need is LOVE RIVER ② 《愛川こそすべて》 ～THE BEATLES フリークがやって来るヤァヤァヤァ！ ③ ADDONE LET’S FUNKY X’MAS GIG ④ ハーモニーホール座間 連携事業 タブレット純 フォークを語る ～伝説のレーベル「エレックレコード」トーク＆上映会～ ⑤ QUEEN MEMORIES ＜トーク＆ライブ＞ St.Valentine’s Day ロッキュー・スペシャル ⑥ タブレット純 フォークを語る ～伝説のレーベル「エレックレコード」トーク＆丸山圭子「彩色兼美」ライブ～	① 152 ② 71 ③ 257 ④ 270 ⑤ 291
11月21日(金)	海老名市文化会館 120サロン	The Sixteen マスタークラス	37 (受講生4 聴講者33
① 11月27日(木) ② 11月28日(金) ③ 11月29日(土) ④ 11月30日(日)	① 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール ② ラゾーナ川崎プラザソル ③ 三浦市民ホール ④ 葉山町福祉文化会館	C × JAZZ 壷阪健登 × デューク・エリントン （再掲 詳細はミッション「創造に挑む」に記載。事業数、入場者数も「創造に挑む」で計上）	（再掲）

■ミッション「未来につなぐ」

［４事業／１演目（２公演）・５企画（５回）／１展覧会 入場者数等3,442人 ］

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
令和８年 １月23日(金) ～１月31日(土)	鎌倉芸術館 ギャラリー	神奈川県美術展60周年記念 受賞作家展 「これまでも、これからも」 併催展：中高生特別企画展	2,179
１月24日(土)	鎌倉芸術館 ギャラリー	トークイベント 神奈川県美術展の「これまでも、これからも」	（うち120）

１月24日(土)	鎌倉芸術館 会議室１	中高生特別企画展　表彰式	（うち40）
10月25日(土)	リニア中央新幹線「神奈川県駅（仮称）」 新設工事現場内	さがみはらリニアフェスタ2025 参加公演 地下交響～ Echoes of The Earth	1,000 (2回公演)
８月19日(火) ～８月29日(金)	神奈川県立音楽堂	(県民ホール人材育成事業) 2025年度 神奈川県立音楽堂＆神奈川県民ホール インターン	7
７月４日(金)	日本語支援拠点施設ひまわり	(社会教育との協働事業) 日本語支援拠点施設ひまわり アウトリーチ	32
令和８年 ３月14日(土)	小田原三の丸 ホール 小ホール	(社会教育との協働事業) 青島先生、少女マンガ界の貴婦人と語る	224

■神奈川県受託事業

［３事業／３演目（６公演）　入場者数等5,131人］　**指定管理事業の統計カウントには含めない**

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)
神奈川県民ホールがやってくる！			
10 月 18 日(土)	神奈川県立 相模湖公園 野外特設ステージ	さがみ湖 野外バレエフェスティバル 2025　「ジゼル」全２幕	1,231
12 月 28 日(日) ～令和８年 1月 10 日(土)	① 小田原三の丸 ホール 大ホール ② 鎌倉芸術館 大ホール	ファンタスティック・ガラコンサート 2025 ～愛の贈り物～	① 834 ② 819
① ３月１日(日) ② ３月７日(土) ③ ３月 15 日(日)	① 鎌倉宮境内 ② 東大果樹園跡地 みらいはらっぱ ③ 大磯港内広場	どこでも音楽便	① 482 ② 412 ③ 1,353

（受賞）

賞名	内容
第22回三菱UFJ信託音楽賞 奨励賞（2024年度公演分）	受賞作品：神奈川県民ホール開館50周年記念オペラシリーズ Vol.２ サルヴァトーレ・シャリーノ作曲『ローエングリン』 （令和６年10月５日・６日上演）

（２）芸術劇場

・芸術劇場が実施した芸術文化事業は22事業／43演目（245公演）・42企画（75回）・２展覧会であり、入場者数等は72,201人であった（巡回公演を除くと57,383人）。
・長塚圭史芸術監督一期目の５年目最終年度として、引き続き、劇場を「ひらいて」いくこと、豊かなプログラムを提供する枠組みとしてシーズン制を設けること、創作環境と劇場の未来を考えること、この３つの方針のもと、多様な作品制作とその発信に取り組み、これまで４年間の総決算とも言える、大きな成果を生んだ1年となった。
・５−６月には、ミュージカル「LAZARUS」をホールで創作上演し、デヴィッド・ボウイの楽曲の魅力と独創性にあふれる劇世界が新たな観客を呼び込んだ。また、舞台美術家山本貴愛がデザインしたアトリウム空間で多彩なパフォーマンスを展開し、気軽にアートに触れる機会を創り、両企画ともプレシーズンならではの伸びやかさで劇場をひらく取組となった。
・７月には、フランスのストラスブール・グランテスト国立演劇センター（TJP）との国際共同製作「ダンスマラソンエクスプレス（横浜⇔花巻）」を上演し、同センター芸術監督である伊藤郁女の独創的な表現が注目を集め、秋にはフランスツアーもおこなった。この作品は、令和５年度より「カイハツ」において発想を試し、また前年度にはフランスでのクリエイションをおこなうなど、創作プロセスを考え開拓する取組でもあり、若いダンサーやスタッフ、また劇場スタッフにとっても貴重な体験となった。
・例年開催しているキッズ・プログラムでは、SPAC-静岡県舞台芸術センターと連携し、両劇場がそれぞれ新作を創作し、双方で上演した。KAATは新進気鋭の演出家大池容子による「わたしたちをつなぐたび」を 、SPACは寺内亜矢子演出の「鏡の中の鏡」を創作上演し、子どもたちに豊かな観劇体験を届けた。
・９月からのメインシーズンにおいては、『虹〜RAINBOW〜』をシーズンタイトルとし、そこから想起される多様な上演をおこなった。開幕を飾った「最後のドン・キホーテ　THE LAST REMAKE OF Don Quixote」は、ケラリーノ・サンドロヴィッチの演出、舞台美術･衣裳･音楽･映像等によってホールを息づかせ、現代への批評ともなるダイナミックな上演となった。読売演劇大賞最優秀作品賞、主演の大倉孝二が選考委員特別賞、音楽の鈴木光介が同優秀スタッフ賞を、出演の安井順平が紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞するなど、極めて高い評価を受けた。続くKAAT× 城山羊の会「勝手に唾が出てくる甘さ」では、中スタジオを会場に、人間関係の機微を描き、小劇場ならでは演劇の醍醐味を観客に届け好評を博した。能のフォーマットを用いた、岡田利規作･演出「未練の幽霊と怪物―『珊瑚』『円山町』―」は、令和３年の同シリーズ前作を超える完成度の上演となり大いに注目を集めた。こうした新作群は、多様な鑑賞ニーズに応えるとともに、KAATからの同時代的な発信となった。
・海外の優れた舞台芸術を県民に届ける取組として、コンテンポラリーダンス２作品の上演をおこなった。ポルトガルの振付家マルコ･ダ･シルヴァ･フェレイラによる「CARCAÇA（カルカサ）」は、差別、偏見、障害を超え生きようとする力を感じる作品であり、またNDT2による公演も現代ヨーロッパの多様なダンス表現に満ち、共に素晴らしい上演となった。前者は民間企業の協賛を受けての実施、後者は愛知県芸術劇場との共催での実施であった。

・今回10回目の開催となった「KAAT EXHIBITION」は、大小島真木によるインスタレーション「あなたの胞衣(えな)はどこに埋まっていますか？」を実施した。中スタジオにおいて、造形のみならず劇場ならではの照明や特殊効果も存分に使い、生と死をみつめる祈りを想起させる密度の濃い展示空間を創り出した。また、現代美術と舞台芸術の融合を目指し、会場内でのライブパフォーマンスも実施した。

・12月に開催された「横浜国際舞台芸術ミーティング2025（YPAM2025）」では、世界各国のダンスを中心とした様々な作品が上演された。海外からの参加者も増加し、国際性溢れる充実した催事となった。特に、韓国の振付家アン･ウンミが南北の融和を願い創作した「北朝鮮ダンス」、イタリアの振付家アレッサンドロ・シャッローニの「ある風景の中で」、フランスの振付家ジェローム・ベルのレクチャーパフォーマンスを川口隆夫が委嘱され演じた「ジェローム・ベル」は、舞台芸術関係者や観客の強い関心を集めた。また、YPAMフリンジの会場として、大スタジオやアトリウムを提供し賑わいを生み出した。

・２−３月には、隔年で実施してきたカナガワ･ツアー･プロジェクトを、長塚芸術監督の作･演出･出演による再演作と新作の二本立てにより実施した。中スタジオでの上演ののち、県内５カ所での上演をおこない、各地で芸術監督のアフタートークも開催した。神奈川県各地の歴史や逸話に取材した両作は、各地の県民に好評を博し、５年間の集大成を示した。

・継続して取り組んできた「リラックスパフォーマンスを考える」の実践として、キッズ・プログラムで上演した「わたしたちをつなぐたび」の再創作をおこない、障害のある方、従来の劇場空間での芸術鑑賞に不安がある方も安心して鑑賞できる「やさしい鑑賞会」として実施した。さまざまな障がいのある方々に観劇いただき、可能性を大いに感じることができた。今後も、あらゆる方に劇場をひらいていくために、取組を続けていきたい。

・５年目となった「カイハツ」プロジェクトは、初めて公募により３団体が企画人材カイハツに参加し、それぞれが創作のアイデアを探し耕す豊かな機会となった。また、舞台芸術が環境に配慮しながらより質の高い表現を生み出すことを考える「グリーンシアター・ワークショップ」、国立劇場と連携して古典芸能を現代の舞台芸術や観客に繋げる「つたえつなぐ」を前年度に引き続き実施した。ほか、アトリウムを主たる会場とするフレンドシッププログラム、バックステージツアー、障がいのある方への鑑賞サポートなど、活用できるリソースを配分しながら、劇場を「ひらいて」いくための、また劇場の未来を考える取組を積み重ねている。

・開館15周年を迎え、記念イベントやノベルティの製作等で劇場への関心を高める取組をおこなった。より多くの県民に足を運んでいただくための「神奈川県民割引」「メインシーズンパスポート」や各種割引は、前年度に引き続き実施し、好評を得ている。また、広報誌「KAAT PAPER」の発行、ウェブラジオである「RADIO KAAT」による発信にも引き続き取り組んだ。

■ミッション「創造に挑む」

［５事業／７演目（89公演）／１展覧会 入場者数等40,751人］

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
５月31日(土) ～６月14日(土)	ホール	ミュージカル「LAZARUS」 ≪16公演≫	9,927
６月28日(土) ～６月29日(日)	巡回公演 フェスティバルホール	≪１演目≫ ≪２公演≫	2,508
９月14日(日) ～10月４日(土)	ホール	KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」 ≪18公演≫	10,309
① 10月12日(日) ～10月13日 (月・祝) ② 10月25日(土) ～10月26日(日) ③ 11月１日(土) ～11月３日 (月・祝)	巡回公演 ① オーバード・ホール　大ホール ② J:COM北九州芸術劇場　中劇場 ③ SkyシアターMBS	≪１演目≫ ≪２公演≫ ≪３公演≫ ≪４公演≫	① 1,238 ② 1,306 ③ 3,336
９月21日(日) ～10月19日(日)	中スタジオ アトリウム	KAAT EXHIBITION 2025 大小島真木展｜あなたの胞衣(えな)はどこに埋まっていますか？ ≪１展覧会≫	2,630
11月14日(金) ～11月30日(日)	中スタジオ	KAAT×城山羊の会 「勝手に唾が出てくる甘さ」　≪21公演≫	4,192
令和８年 ２月13日(金) ～３月１日(日)	大スタジオ	KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「未練の幽霊と怪物 ―『珊瑚』『円山町』―」　≪18公演≫	3,395
① ３月７日(土) ～３月８日(日) ② ３月15日(日) ③ ３月21日(土) ～３月22日(日)	巡回公演 ①兵庫県立芸術文化センター　阪急 中ホール ②りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館　劇場 ③ロームシアター京都　サウスホール	≪１演目≫ ≪２公演≫ ≪１公演≫ ≪２公演≫	① 758 ② 296 ③ 856

■ミッション「感動を分かち合う」

［７事業／24演目（117公演）・15企画（44回）・１展覧会 入場者数等24,689人］

（※）自由公開のため、入場者数はカウントしない

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
４月24日(木) ～６月14日(土)	アトリウム	KAATアトリウムプロジェクト ≪１展覧会≫	－ （※）

① ６月１日(日) ② ６月７日(土) ③ ６月８日(日) ④ ６月14日(土)		関連企画　パフォーマンス ≪４企画11回≫	①80 ②147 ③202 ④194
７月21日 (月・祝) ～７月27日(日)	大スタジオ	KAATキッズ・プログラム2025 「わたしたちをつなぐたび」≪８公演≫	1,086
７月26日(土) ～７月27日(日)	大スタジオ	KAATキッズ・プログラム2025 「鏡の中の鏡」　≪２公演≫	344
８月２日(土) ～８月３日(日)	巡回公演　≪１演目≫ 「わたしたちをつなぐたび」 グランシップ中ホール・大地　≪２公演≫		148
11月21日(金) ～11月22日(土)	ホール	ネザーランド・ダンス・シアター (NDT2)　来日公演2025　≪２公演≫	2,096
令和８年 ２月11日 (水・祝) ～２月23日 (月・祝)	中スタジオ	KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第三弾 「冒険者たち ～JOURNEY TO THE WEST～」 「帰ってきた冒険者たち ～闇に落ちたカナガワを救え！～」 ≪２演目15公演≫	2,700
① ２月28日(土) ～３月１(日) ② ３月３日(火) ～３月４日(水) ③ ３月７日(土) ～３月８日(日) ④ ３月14日(土) ⑤ ３月20日 (金・祝) ～３月21日(土)	巡回公演　≪１演目≫ ① 横須賀芸術劇場　ヨコスカ・ベイサイド・ポケット　≪２公演≫ ② 川崎市アートセンター アルテリオ小劇場　≪２公演≫ ③ 鎌倉芸術館 小ホール　≪２公演≫ ④ 海老名市文化会館 大ホール　≪２公演≫ ⑤ 藤沢市湘南台文化センター 市民シアター　≪２公演≫		①355 ②326 ③400 ④546 ⑤498
KAATフレンドシッププログラム			
① ５月18日(日) ② ６月30日(月) ③ ９月１日(月) ④ ９月30日(火) ⑤ 10月26日(日) ⑥ 11月26日(水) ⑦ 12月４日(木) 令和８年 ⑧ ２月１日(日) ⑨ ３月６日(金)	ホール	「みんなのKAAT バックステージツアー」 ≪１企画17回≫	①32 ②31 ③33 ④31 ⑤16 ⑥19 ⑦ 9 ⑧28 ⑨24
10月26日(日)	ホール	「みんなのKAAT やさしいバックステージツアー」　≪１企画≫	9

① ５月24日(土) ～５月25日(日) ② ７月26日(土) ～７月27日(日) ③ 11月15日(土) ～11月16日(日)	アトリウム	「KAATマルシェ」　≪１企画３回≫	①500 ②800 ③950
７月27日(日)	ホール	＜「KAATマルシェ」関連企画＞ オープンステージ　≪１企画≫	211
８月15日(金)	アトリウム	「KIDS RUNWAY」　≪１企画≫	53
９月20日(土) ～９月23日 (火・祝)	アトリウム	オペラシアターこんにゃく座公演 オペラ「変身」 〈関連企画〉ミニコンサート ≪１企画４回≫	340
12月10日(水)	アトリウム	＜YPAMフリンジ＞ Mirai Circus Network 「日本現代サーカスネットワークMirai Circus Networkショーケース」 ≪１演目≫	110
令和８年 １月20日(火) ～３月４日(水)	アトリウム	「横浜中華街 2026横浜春節祭 ランタンオブジェ展示」(自由公開) ≪１企画≫	－ (※)
２月８日(日)	アトリウム	国立劇場主催令和８年２月文楽公演プレイベント 文楽へようこそ@横浜 ≪１企画≫	120
２月28日(土) ～３月１日(日)	アトリウム	世界を知ろう、全国を知ろう、こども若者お国自慢大会 Kodomonomachi for Green × EXPO 2027 ≪１企画≫	300
提携公演			
５月29日(木) ～６月１日(日)	大スタジオ	TAK in KAAT Theater Company夜明け「Blue moment」 ―世界が夜と朝の狭間で色づく瞬間- ≪６公演≫	571
６月６日(金) ～６月８日(日)	大スタジオ	Shake&Speare!!Stage 宮川彬良×木村龍之介「ナツユメ」 ≪５公演≫	661
６月19日(木) ～６月22日(日)	大スタジオ	OrganWorks2025-2026 「ショウメイコウ/ Show me a code - Physical side-」　≪６公演≫	616
８月７日(木) ～８月10日(日)	大スタジオ	リ・クリエイションツアー ナビロフト「りすん 2025 edition」 ≪６公演≫	603

８月16日(土) ～８月17日(日)	大スタジオ	こどもとおとなのオペラプロジェクト 「エマと青いバク」 「ペレグリンと大きな魚」　≪３公演≫	303
８月15日(金)		＜関連企画＞ 公演開催記念 オープニングセレモニー・シンポジウム ≪１企画≫	9
８月21日(木) ～８月24日(日)	大スタジオ	TAK in KAAT theater 045 syndicate 本公演 「夏の夜の夢」　≪６公演≫	603
９月20日(土) ～９月23日 (火・祝)	大スタジオ	オペラシアターこんにゃく座公演 オペラ「変身」　≪４公演≫	839
10月18日(土) ～10月26日(日)	大スタジオ	舞台「近松心中物語」　≪13公演≫	1,765
11月12日(水) ～11月16日(日)	大スタジオ	まつもと市民芸術館プロデュース 「チェーホフを待ちながら」≪５公演≫	670
11月29日(土) ～11月30日(日)	ホール	「大誘拐」 ～四人で大スペクタクル～ ≪２公演≫	1,341
12月19日(金) ～12月28日(日)	大スタジオ	ゆうめい10周年全国ツアー公演 「養生」　≪12公演≫	1,393
令和８年 １月16日(金) ～１月18日(日)	大スタジオ	中村蓉ダンス公演2026 BLINK　双面改瞬間真似 ふたおもてあらためまたたきのまにまに) ≪４公演≫	376
共催事業			
７月19日(土) ～７月20日(日)	ホール	舞踊劇 「舞、朝鮮通信使　柳馬図を描く」 ≪２公演≫	494
11月１日(土) ～11月２日(日)	ホール	2025　アートダンスカナガワ　No.13 「Romeo and Juliet」　≪２公演≫	1,238
令和８年 １月30日(金) ～１月31日(土)	大スタジオ	共生共創事業 チャレンジ・オブ・ザ・シルバー 「シニアのための体験型ダンスイベント」 ≪１企画２回≫	346
令和８年 ３月15日(日)	大スタジオ	かながわパフォーミングアーツアワード2026　ファイナル　≪１公演≫	123

■ミッション「つねに考える」

［２事業／８演目（17公演）・10企画（12回） 入場者数等2,567人］

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
横浜国際舞台芸術ミーテイング2025（YPAM2025）			
12月５日(金) ～７日(日)	大スタジオ	＜YPAMフリンジ＞ 日仏共同創作現代サーカス 「DADDA」2025横浜版　≪４公演≫	270
12月５日(金) ～７日(日)	中スタジオ	＜YPAMショーケース＞ ジェローム・ベル 「ジェローム・ベル」　≪３公演≫	312
12月６日(土)	アトリウム	＜YPAMフリンジ＞ 中村蓉（ヨウ＋）新作開発共遊会 Vol.２ ≪１公演≫	60
12月７日(日)	アトリウム	＜YPAMフリンジ＞ ヨコハマダンスコレクション2025 梅田 宏明 「Movers Platform JP2」 ≪１公演≫	100
12月８日(月)	ホール	＜YPAMショーケース＞ アン・ウンミ・カンパニー 「北朝鮮ダンス」　≪１公演≫	445
12月10日(水)	アトリウム	＜YPAMフリンジ＞ Mirai Circus Network 「日本現代サーカスネットワーク Mirai Circus Networkショーケース」	（再掲）
12月12日(金) ～12月13日(土)	大スタジオ	＜YPAMショーケース＞ シュウ・ジャウェイ+チャン・ティントン+チェン・シェンユゥ×YCAM 「浪のしたにも都のさぶらふぞ」 ≪３公演≫	265
12月12日(金) ～12月13日(土)	中スタジオ	＜YPAMショーケース＞ アレッサンドロ・シャッローニ 「ある風景の中で」　≪３公演≫	255
12月13日(土)	ホール	＜YPAMショーケース＞ ヨコハマダンスコレクション2025 クラウド・ゲイト・ダンスシアター (雲門舞集) 「WAVES」　≪１公演≫	725
「カイハツ」		＊企画公募	
５月13日(火)	アトリエ	戯曲カイハツ 如月小春「MORAL」を読む会 ≪１企画≫	6

７月７日(月) ～７月12日(土) （９日休み)	アトリエ	企画・人材カイハツ 「子連れOK!新しい表現を探す旅」 ＊ ≪１企画≫	14
７月23日(水)	アトリエ	戯曲カイハツ ステファノ・マッシーニ 「わが闘争」を読む会 ≪１企画≫	13
８月23日(土)、 ９月１日(月) ～９月５日(金) （３日休み)	アトリエ	企画・人材カイハツ 「振付としてみる、西洋芸術音楽のプレーヤーたち」 ＊ ≪１企画≫	15
８月25日(月) ～８月30日(土) (28日休み)	アトリエ	企画・人材カイハツ 「上演そのものを問題化する戯曲を起点に、創作と権力の関係を再考する」 ＊≪１企画≫	22
９月19日(金)	アトリエ	戯曲カイハツ 如月小春「工場物語 - The Factory Romance 《少女と犬》 型都市を記述する試み・PartⅡ」を読む会 ≪１企画≫	10
① 10月14日(火) ～10月17日(金) ②令和８年 ２月17日(火) ～２月19日(木) ③ ３月10日(火)	①② 神奈川県内各所 ③中スタジオ	創作プロセスカイハツ 兼島拓也新作書下ろし ①リサーチ １ ②リサーチ ２ ③読み合わせ ≪１企画３回≫	①２ ②１ ③17
11月20日(木)	アトリエ	戯曲カイハツ ファルク・リヒター 「非常事態」を読む会 ≪１企画≫	7
令和８年 １月19日(月)	大スタジオ	戯曲カイハツ ステファノ・マッシーニ 『夢判断』を読む会 ≪１企画≫	15
３月６日(金)	アトリエ	戯曲カイハツ リン・ノッテージ 「SWEAT」を読む会 ≪１企画≫	13

■ミッション「未来につなぐ」

［８事業／４演目（22公演）・17企画（19回） 入場者数等4,194人］

（※）自由公開のため、入場者数はカウントしない

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 （人）
７月10日(木) ～７月13日(日)	大スタジオ	KAAT×TJP（ストラスブール・グランテスト国立演劇センター） 「ダンスマラソンエクスプレス (横浜⇔花巻)」 ≪５公演≫	542

① 10月３日(金) ～10月11日(土) ② 10月15日(金) ～10月16日(土) ③ 10月17日(日)	巡回公演　≪１演目≫ 海外公演 ① フランス　ストラスブール TJP Centre dramatique national de Strasbourg Grand Est　≪10公演≫ ② フランス　ルーアン CDN DE NORMANDIE - ROUEN, LES ANGES AU PLAFOND　≪３公演≫ ③ フランス　ヴァルドルイユ Théatre De L'ArsenalThéatre De L'Arsenal　≪１公演≫		①1,372 ②　626 ③　249
10月24日(金) ～10月25日(土)	ホール	KAAT DANCE SERIES 「CARCAÇA -カルカサ-」　≪２公演≫	833
① 11月２日(日) 令和８年 ② ３月21日(土)	中スタジオ	KAAT×国立劇場＜つたえつなぐ＞ 「観てよみ解く～実演＆レクチャー～」 ① 文楽　三味線編 ② 日本舞踊編　≪２企画２回≫	①52 ②69
令和８年 １月10日(土) ～３月31日(火)	アトリウム	<KAAT神奈川芸術劇場 開館15周年記念イベント> 15周年記念バナー展示　≪１企画≫	－ (※)
１月11日(日)		<KAAT神奈川芸術劇場 開館15周年記念イベント> トークセッション 「ひらかれた劇場をめざして」　≪１企画≫	120
KAAT人材育成事業			
令和８年 １月28日(水) ～２月12日(木)	全館	2025年度 インターン 舞台技術コース　≪１回≫	3
３月24日(火) ～３月29日(日)	全館	2025年度　インターン 劇場運営コース　≪１回≫	3
６月10日(火)	大スタジオ	KAAT舞台技術講座 2025 「実現するちから」を学ぶ ～ヘアメイク編～　≪１企画≫	13
令和８年 １月25日(日) ～１月26日(月)	大スタジオ	KAAT舞台技術講座 2026 制作者のための舞台技術講座　≪１企画２回≫	45
６月21日(土)	中スタジオ	KAAT人材育成プログラム 第３回グリーンシアター・ワークショップ 「ライフサイクルアセスメント（LCA）を活用して、持続可能な未来を目指そう」　≪１企画≫	17

令和８年 ３月５日(木)	中スタジオ	KAAT人材育成プログラム 第３回グリーンシアター・ワークショップ ＜未来につなぐアクションへ～設計ガイドと実践のヒント＞ ≪１企画≫	21
大学連携			
６月７日(土)	ホール	玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科 劇場接遇演習　≪１企画≫	12
10月30日(木)	ホール	静岡文化芸術大学デザイン学科 施設見学及びレクチャー ≪１企画≫	7
11月13日(木)	ホール	名古屋芸術大学芸術学部芸術学科舞台芸術領域 施設見学及びレクチャー　≪１企画≫	17
11月22日(土)	ホール	玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科 舞台照明レクチャー　≪１企画≫	14
リラックスパフォーマンスを考える			
令和８年 ３月29日(日)	大スタジオ	KAATキッズ・プログラム2025 ＜やさしい鑑賞会＞ 「わたしたちをつなぐたび」≪１演目≫	64
教育機関連携事業			
７月29日(火) ～７月31日(木)	大スタジオ	神奈川総合高等学校　夏季特別講座 「応用舞台技術」2025 ①舞台技術体験プログラム ≪１企画≫	32
８月８日(金)	神奈川総合高等学校	神奈川総合高等学校　夏季特別講座 「応用舞台技術」2025 ②講義　≪１企画≫	27
10月20日(月)	ホール	神奈川総合高等学校　夏季特別講座 「応用舞台技術」2025 ③施設見学　≪１企画≫	26
令和８年 ３月10日(火)	大スタジオ	東京都立中央ろう学校　社会見学 (施設見学)　≪１企画≫	30
		「カイハツ」 (再掲　詳細はミッション「つねに考える」に記載。事業数、入場者数も「つねに考える」で計上)	(再掲)

（その他の取組）

取組	内容
KAAT神奈川芸術劇場×横浜中華街 タイアップ企画 チケット提示でお得なサービス	芸術劇場にて上演される対象公演のチケット提示で、横浜中華街の参加店舗で割引などのお得なサービスが受けられるタイアップ企画を実施。対象公演を掲載したタイアップチラシを年に２回発行し、中華街各店に配架。劇場ホームページにも対象公演や店舗を掲載し告知を行った。
アトリウム映像プロジェクト	芸術劇場エントランスに広がるアトリウムに、巨大な映像を上映した。 ① Vol.32 安藤由佳子《Post 2025》(2006/2025) 《Notice》(2006) 期間：令和７年４月１日(火)～８月６日(水) ② Vol.33 宮永亮《In Between》(2017) 期間：令和７年８月８日(金)～９月15日(月・祝) ③ Vol.34 大小島真木 《山の子に問いかけられる|Mountain child ask me》(2014) 《原爆の子｜Child of the Atomic bomb》(2015) 期間：令和７年９月19日(金)～12月28日(日) ④ Vol.35 麥生田兵吾《光源》(2025) 期間：令和８年１月13日(火)～３月31日(火)
第50回野毛大道芸での宣伝活動	第50回野毛大道芸にブースを出展し、広報誌（KAAT PAPER）や公演チラシを配布。またオリジナルグッズが当たる抽選会を行い、劇場及び公演のプロモーションを行った。 実施日：令和７年４月19日(土)～20日(日)

長塚圭史芸術監督による KAAT神奈川芸術劇場 RADIO KAAT	芸術監督の長塚圭史が主催公演に関わるゲストを迎えて、作品の裏話や見どころをお話しするウェブラジオ「RADIO KAAT」を、YouTubeやPodcastによる収録配信で実施した。 vol.32 「KAATアトリウムプロジェクト」 公開日：令和７年５月19日(月) 出演：長塚圭史　ゲスト：山本貴愛 vol.33 ミュージカル「LAZARUS」 公開日：令和７年５月26日(月) 出演：長塚圭史 ゲスト：白井晃 vol.34 KAAT×TJP(ストラスブール・グランテスト国立演劇センター) 「ダンスマラソンエクスプレス(横浜⇔花巻)」 公開日：令和７年７月７日(月) 出演：長塚圭史　ゲスト：Aokid、岡本優 vol.35 KAATキッズ・プログラム2025「わたしたちをつなぐたび」 公開日：令和７年７月14日(月) 出演：長塚圭史　ゲスト：大池容子 vol.36 KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」 公開日：令和７年９月１日(月) 出演：長塚圭史 ゲスト：ケラリーノ・サンドロヴィッチ vol.37 KAAT EXHIBITION 2025 大小島真木展｜あなたの胞衣はどこに埋まっていますか？ 公開日：令和７年９月15日(月祝) 出演：長塚圭史 ゲスト：大小島真木、辻陽介 vol.38 KAAT×ケダゴロ×韓国国立現代舞踊団「黙れ、子宮」 公開日：令和７年11月12日(水) 出演：長塚圭史 ゲスト：岩谷健司、岡部たかし vol.39 KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第三弾 「冒険者たち ～JOURNEY TO THE WEST～」 「帰ってきた冒険者たち ～闇に落ちたカナガワを救え！～」 公開日：令和８年２月４日(水) 出演：長塚圭史　ゲスト：角銅真実　成河 vol.40 KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「未練の幽霊と怪物―『珊瑚』『円山町』―」 公開日：令和８年２月９日(月) 出演：長塚圭史 ゲスト：岡田利規、片桐はいり
横浜開港祭イベント 「ハマフェスY166」関連企画	横浜開港の歴史を伝える５つのエリア（馬車道、関内、山下公園通り、横浜中華街、元町・山手）が開催する開港イベント「ハマフェスY166」の関連企画として、KAAT神奈川芸重劇場のアトリウムで「KAATマルシェ」「KAATアトリウムプロジェクト」を実施。 また、５月23日(金)に開催された同フェスのオープニングセレモニーではKAAT神奈川芸術劇場が主催者として参加し、同セレモニー上で関連企画も紹介された。 実施日：５月24日(土)～25日(日)
広報誌「KAAT PAPER」発行	KAATの広報誌として「KAAT　PAPER」を年３回発行。長塚芸術監督が掲げる“劇場をひらく”取組の１つとして、毎号劇場そのものや舞台芸術の魅力を伝える特集企画を立て、芸術監督との対談や取材記事、主催公演のレビューなどを掲載した。 ①2025春号　令和７年６月４日(水) ②2025秋号　令和７年９月８日(月) ③2026冬号　令和８年１月17日(土)

神奈川県厚生福利振興会企画 県民教養講座「親子招待」	一般社団法人神奈川県厚生福利振興会の企画として、神奈川県内に在住、または、神奈川県内の学校に通学する小学生とその保護者を対象に合計40組80名をKAATキッズ・プログラム2025「わたしたちをつなぐたび」公演に招待した。 実施日：７月21日(月・祝)、23日(水)
鑑賞機会の少ない子どもたちへのアプローチ 「子ども招待」	オンライン小口寄付によるご支援をいただき、多くの子どもたちに劇場での鑑賞体験を届けるプロジェクトとして、神奈川県子ども家庭課、横浜市社会福祉協議会を通して、市内の児童養護施設やひとり親家庭、里親家庭等の子どもたちをKAATキッズ・プログラムの演劇公演に招待した。 ① 令和７年７月26日(土)～27日(日) KAATキッズ・プログラム2025「鏡の中の鏡」 参加人数：10名（こども５名／大人５名） ② 令和８年３月29日(日) KAATキッズ・プログラム2025「わたしたちをつなぐたび」 〈やさしい鑑賞会〉 参加人数：８名（こども４名／大人４名）
メインシーズン 「虹～RAINBOW～」の展開	９月のメインシーズン開幕に合わせ、2025年度のシーズンタイトルである「虹～RAINBOW～」のビジュアルを展開した。また、メインシーズンに行われる複数公演チケットをセットで購入できる「KAATメインシーズンパスポート」を販売した。 ・令和７年４月11日(金) ：KAATメインシーズンパスポートのチラシを発行 ・令和７年９月８日(月) ：外壁をメインシーズン仕様に貼替え ・令和７年９月13日(土) ：アトリウム内フラッグをメインシーズン仕様 （「虹～RAINBOW～」）に吊替え
第21回関内フード&ハイカラフェスタ ～さくらまつり～	第21回関内フード&ハイカラフェスタにブースを出展し、広報誌（KAAT PAPER）や公演チラシを配布。またオリジナルグッズが当たる抽選会を行い、劇場及び公演のプロモーションを行った。 実施日：令和７年11月３日(月・祝)
横浜春節祭2026 春節祭デジタルスタンプラリー	「横浜中華街 横浜春節祭2026 ランタンオブジェ展示」 の関連企画として、中華街エリアや横浜ベイエリアに約60カ所に展示されたランタンオブジェを巡りながらデジタルスタンプをためるスタンプラリーのポイントとして参加した。 また、２月19日(木)からは上記ランタンに横浜中華学院の生徒が作成した提灯(25個)を飾り、横浜春節祭を盛り上げた。 実施日：令和８年１月20日(火)～３月４日(水)
横浜春節祭2026 祈願獅子舞	中華の伝統芸能であり、神事として祝賀行事に欠かせない「獅子舞」。横浜春節祭2026でも、新たな年が素晴らしい一年となるよう願いをこめて、祈願獅子舞を披露した。 開催日：令和８年２月21日(土) 鑑賞者：約800名
2026年度KAAT神奈川芸術劇場 ラインアップ発表会	芸術監督・長塚圭史が対面にて2025年度の振り返りと2026年度の年間プログラムの概要を発表。各プログラムの演出家・作家からのコメントをビデオメッセージにて上映。 KAATメインシーズンパスポートを購入した方を招待した。 開催日：令和８年２月26日(木) 参加人数：報道各社含め 37名

（受賞）

賞名	内容
Critics’ Awards for Theatre in Scotland 最優秀デザイン賞 最優秀技術賞 最優秀アンサンブル賞 （キャスト賞）	受賞作品：日英国際共同制作 KAAT × Vanishing Point 「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」 （2024年11月～2025年３月上演）
Critics’ Awards for Theatre in Scotland 最優秀演技賞 （卓越した演技賞）	受賞者：サンディ・グライアソン 受賞対象：日英国際共同制作 KAAT × Vanishing Point 「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」 （2024年11月～2025年3月上演）における演技
UK Theatre Awards2025 最優秀デザイン賞	受賞者：デザインチーム （舞台美術：石原敬/衣裳：伊藤佐智子/照明：サイモン・ウィルキンソン/パペット：エイリー・コーエン） 受賞対象：日英国際共同制作 KAAT × Vanishing Point 「品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey」 （2024年11月～2025年３月上演）におけるデザイン
令和７年度（第76回） 芸術選奨文部科学大臣賞	受賞者：齋藤雅文 受賞対象：KAAT×新ロイヤル大衆舎vol.２「花と龍」 （令和７年２月～３月上演）における台本
第60回 紀伊國屋演劇賞個人賞	受賞者：安井順平 作品名：KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」 （令和７年９月～10月上演）ほかにおける演技
第33回 読売演劇大賞 最優秀作品賞	受賞作品：KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」 （令和７年９月～10月上演）
第33回 読売演劇大賞 選考委員特別賞	受賞者：大倉孝二 受賞対象：KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」 （令和７年９月～10月上演）における演技
第32回 読売演劇大賞 優秀スタッフ賞	受賞者：鈴木光介 受賞対象：KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」 （令和７年９月～10月上演）における音楽

KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース
「最後のドン・キホーテ
THE LAST REMAKE of Don Quixote」
令和７年９月 14 日(日)～10 月４日(土)
ホール
撮影：引地信彦

（３）音楽堂

・音楽堂が実施した芸術文化事業は12事業／37演目（46公演）・12企画（12回）であり、入場者数等は24,728人であった。

・全国および首都圏において音楽堂のプレゼンスを向上させるために、上質性、先進性、国際性とオリジナリティにあふれたクラシック音楽を主とするレギュラーラインアップを、主催事業と共催事業を連動させて展開し、若い世代や地域に向けては、クラシック音楽の枠にとらわれず、ジャンルを超えた音楽や新しい音楽表現も含めた発信を行い、一流の室内楽ホールとしてのブランドイメージを構築することに努めた。

・フラッグシップとなる、世界的名演奏家の公演を招致する音楽堂ヘリテージ・コンサートでは、フランス・ピアニズムを体現するピアニストとして広く知られるジャン=エフラム・バヴゼが、モーリス・ラヴェルの生誕150年を記念して、ピアノ曲全曲を披露。また、現代で最も人気を集めるディーバのひとりナタリー・デセイは、クラシック音楽からの引退を宣言しており、フランスの歌曲とミュージカルナンバーを集めたフェアウェルコンサートを上演。フランスを代表す る音楽家による２つの公演はいずれも高い評価を得た。

・近隣の働き世代の来場を促す施設開放型イベント「大人のための音楽堂　tic！ tac！ toe!」では、クラシック音楽に捉われないジャンルレスな音楽プログラムを展開した。これまで企画監修を外部プロデューサーに委託していたものを、音楽堂職員による独自企画にシフトし、ホールとホワイエを舞台に延べ５時間に渡り様々なパフォーマンスを披露、これまで以上の集客に成功した。

・従来の表現・思考のスタイルにとらわれない新しい表現を紹介するシリーズ「新しい視点」では、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団で活躍するダニエル・オッテンザマーを中心とするクラリネット・トリオが音楽堂だけの特別なプログラムを披露。一柳慧名誉芸術総監督の理念を体現する公募プログラム「紅葉坂プロジェクト」では、令和６年度に審査・採択した企画案の本公演を７月に実施するともに、令和８年度実施に向けた新たな企画公募・審査・ワークインプログレスを実施した。

・その他、幅広い年齢層の県民合唱参加による「ヘンデル「メサイア」全曲」演奏会、教員に向けた「先生のためのアウトリーチ」、７名の学生のインターンシップを受け入れた「音楽堂＆県民ホール制作・広報インターン」、紅葉ケ丘の近隣文化施設施設５館と提携した「紅葉ケ丘まいらん」、多彩な共催事業の実施等の取組で、次世代の人材育成や、地域に開かれ音楽文化の振興をはかる公共ホールとしての役割を追求した。

・音楽堂室内オペラ・プロジェクトにおいては、2025年２月に上演したオペラ「オルフェオ」公演が、栄誉ある第23回佐川吉男音楽賞ほかを受賞した。

第58回クリスマス音楽会
ヘンデル「メサイア」全曲
令和７年12月７日(日)
撮影：ヒダキトモコ

■ミッション「創造に挑む」

［１事業／２演目（２公演）・２企画（２回） 入場者数等876人］

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
シリーズ「新しい視点」			
６月27日(金)	音楽堂	ダニエル・オッテンザマー クラリネット・トリオ・アンソロジー	569
紅葉坂プロジェクト			
７月19日(土)	音楽堂	紅葉坂プロジェクト Vol. ４	235
令和８年 ３月20日(金祝)	音楽堂	紅葉坂プロジェクト Vol. ５ ワークインプログレス（公開プレゼンテーション） ① 一息ごとに一時間、あかいくつをさがして ② 10万年前のコントラバス／10万年後のコントラバス ≪２企画２回≫	72

■ミッション「感動を分かち合う」

［５事業／31演目（40公演） 入場者数等20,835人］※名義共催（７演目７公演）を含む

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
音楽堂ヘリテージ・コンサート			
10月11日(土)	音楽堂	ジャン=エフラム・バヴゼ ピアノ・リサイタル	559
11月２日(日)	音楽堂	ナタリー・デセイ＆フィリップ・カサール デュオ・リサイタル	583
音楽堂ホリデーアフタヌーンコンサート（共催公演）			
４月12日(土)	音楽堂	金川真弓 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル	642
５月17日(土)	音楽堂	上原彩子　ピアノ・リサイタル	622
６月１日(日)	音楽堂	郷古廉＆村上淳一郎＆辻本玲	958
７月21日(月祝)	音楽堂	宮田大＆大萩康司 デュオ・リサイタル	970
９月13日(土)	音楽堂	トリオ・ジャパン	972

10月18日(土)	音楽堂	小井土文哉　ピアノ・リサイタル	584
11月15日(土)	音楽堂	上野聖矢&岡田奏 デュオ・リサイタル	594
令和８年 １月17日(土)	音楽堂	上野通明&北村明幹 デュオ・リサイタル	891
２月23日(月祝)	音楽堂	エリック・ルー ピアノ・リサイタル	971
３月21日(土)	音楽堂	東亮汰&務川慧悟 デュオ・リサイタル	962
MUSIC DAY in KANAGAWA（共催公演）			
５月31日(土)	音楽堂	加藤訓子プロデュース STEVE REICH PROJECT 2025 『MUSIC FOR MALLETS／DRUMMING』 ダブルビル　　≪２演目２公演≫	400
９月20日(土)	音楽堂	加藤訓子プロデュースMUSIC DAY in KANAGAWA 古代から現代、そして未来へ Vol.２ 権代敦彦作品集	200
その他共催公演			
４月19日(土)	音楽堂	第48回全日本おかあさんコーラス 神奈川県大会	300
４月29日(火祝)	音楽堂	第41回かながわ音楽コンクール ユースピアノ部門本選	100
５月24日(日)	音楽堂	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ ＜Classic　Modern＞第32回	546
５月25日(日)	音楽堂	第41回かながわ音楽コンクール ヴァイオリン部門本選	200
６月14日(土) ～15日(日) ６月28日(土) ～29日(日)	音楽堂	第68回神奈川県合唱祭　　≪４公演≫	2,000
７月５日(土)	音楽堂	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ ＜Classic　Modern＞第33回	609
８月16日(土) ～17日(日)	音楽堂	第68回神奈川県合同合唱コンクール ≪２公演≫	1,600

９月21日(日)	音楽堂	第34回神奈川オペラフェスティバル’25 ≪第１夜≫ オペラ・ガラコンサート	446
10月７日(火) ～９日(木)	音楽堂	第64回「音楽堂・おかあさんコーラス」 ≪３公演≫	1,000
11月１日(土)	音楽堂	第34回神奈川オペラフェスティバル’25 ≪第２夜≫オペラ 『ヘンゼルとグレーテル』	450
11月３日(月祝)	音楽堂	第74回神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式	732
11月20日(木) ～23日(日)	音楽堂	第39回ヨコハマ・全国舞踊コンペティション ≪４公演≫	400
11月30日(日)	音楽堂	第59回神奈川県名流三曲祭	200
令和８年 １月21日(水)	音楽堂	団地コーラス発表会	200
１月31日(土)	音楽堂	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ ＜Classic　Modern＞第34回	578
２月11日(水祝)	音楽堂	第48回神奈川県合唱祭フェスティバル	1,000
２月14日(土)	音楽堂	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ ＜Classic　Modern＞第35回	566

■ミッション「つねに考える」

［１事業／２企画（２回）　入場者数等147人］

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 （人）
街なかトークカフェ			
７月31日(木)	音楽堂 ホワイエ	高雅にして破滅的なフランス音楽 ≪１企画≫	34
令和８年 ２月４日(水)	音楽堂	今さら聞けない？「古楽」基本の“き” ≪１企画≫	113

■ミッション「未来につなぐ」

［５事業／４演目（４公演）・８企画（８回） 入場者数等2,870人］

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等（人）
11月16日(日)	音楽堂	大人のための音楽堂　tic! tac! toe! ①1966カルテット ②ダブルタツキ ③トーマス・エンコ ≪３演目３公演≫	①274 ②273 ③277 ④622
		④ホワイエ企画 珊瑚ガムラン神楽 ≪１企画≫	
12月７日(日)	音楽堂	第58回クリスマス音楽会 ヘンデル「メサイア」全曲	870
音楽堂アウトリーチ			
８月22日(金)	音楽堂	「先生のためのアウトリーチ研修会」 ※社会連携ポータル課と協働で実施 ≪１企画≫	71
11月19日(水)	ラゾーナ川崎 プラザソル	「先生のためのアウトリーチ」 ※社会連携ポータル課と協働で実施 ≪１企画≫	20
① ５月24日(土) ② ７月５日(土) 令和８年 ③ １月31日(土) ④ ２月14日(土)	音楽堂	神奈川県立音楽堂×神奈川フィルハーモニー管弦楽団 小中高生のための公開リハーサル ≪１企画≫	①64 ②185 ③96 ④111
８月19日(火) ～８月29日(金)	音楽堂	(音楽堂人材育成事業) 2025年度神奈川県立音楽堂&神奈川県民ホール インターン ≪１企画≫	7

(受賞)

賞名	内容
第23回佐川吉男音楽賞	受賞作品：音楽堂室内オペラ・プロジェクト第7弾 濱田芳通&アントネッロ　モンテヴェルディ オペラ『オルフェオ』新制作(令和７年２月上演)
Mercure des Arts 2025年 第11回年間企画賞 第２位	受賞作品：音楽堂室内オペラ・プロジェクト第7弾 濱田芳通&アントネッロ　モンテヴェルディ オペラ『オルフェオ』新制作(令和７年２月上演)

２．施設運営・利用者サービス 公１ 収１ 収２

（１）県民ホール

ア　芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公１

休館のため、施設の貸出は行わず、施設内の備品消耗品等の整理、それらの物品を有効活用するため、県及び県内市町村等へ譲渡を実施、また、経年劣化した物品については、計画的に廃棄手続きを行った。館内整理と併せて、必要な保守点検、法定点検、小破修繕、通信環境の撤去、空調設備、水道、ガス等の段階的な停止作業を行い、施設の受電停止まで、安全な施設維持管理を行い、指定管理期間を無事終了した。

イ　県民ホールの施設を活用する事業 収２

休館のため、施設を活用する事業は実施しなかった。

ウ　駐車場の運営等 収１

第１及び第２駐車場を令和７年４月から令和８年２月中旬まで運営し、一定の収入を得た。

◆令和７年度に行った財団執行による主な施設設備修繕・改修等

休館のため大きな施設設備修繕・改修等は実施しなかった。

（２）芸術劇場

ア　芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公１

・令和７年度は、劇団四季の長期貸館がなかったものの、新規のロングラン貸館などを誘致し、ホール利用率は95.5%と高水準を維持した。ホールでは約２ヶ月にわたる貸館公演の上演と並行して、大スタジオで公演関連の衣装展を開催するなど複数会場を連動させた新たな活用の試みもあり、その結果、大スタジオの入場者が増加し、前年に比べ３万人以上の増加となる27万人を超える多くのお客様をお迎えすることができた。

・令和６年12月にサイバー攻撃を受けたため、令和７年度もその影響で、業務に多く支障が出たが、令７年７月15日より、新システムを導入し、業務効率が大幅に改善し、貸館時の情報共有などもスムーズにできる体制となった。

・令和６年度から導入しているKAATバーチャルツアーについて、一般来場者向けの館内エリアをHPで公開しているほか、令和７年度からは施設利用者（主に技術スタッフ等）向けに、舞台奥・舞台袖・奈落、スノコ、楽屋などバックヤードの非公開エリアの詳細情報を３Dウォークスルーで見ることが出来る技術者向けシステムを提供開始した。利用中のために下見ができない場合に、バックヤードが確認できるため、利用者の利便性向上に寄与した。

・令和７年７月12日～13日には「避難体験　in　KAAT＃３<<スタジオコンテナ大感謝祭>>」と題し、ホールにて上演中に地震が発生するという、有観客避難訓練を実施した。７月12日には1,087名というほぼ満席の客席から、お客様が実際に避難する訓練となり、ホール運営上の貴重な経験をすることが出来た。また、観客の観劇の際の安全意識の向上にも資することになった。

・令和８年１月11日に開館15周年を迎えたことを記念し、節目を祝う各種取り組みを実施した。KAATにゆかりのあるデザイナー３名のバナー展示で館内を彩り、アトリウムでのイベント開催時には、KAATオリジナルグッズ（ロゴキーホルダーや、地域の障がい者就労支援を行う事業所に製造を依頼したKAATクッキーなど）を販売し大変好評を得た。２月９日よりカプセルトイ自販機を設置しキーホルダーの販売を開始したところ、大勢のお客様にご購入いただいており、来場者に対し劇場の魅力発信とブランド認知の向上を図った。

・施設の維持管理においては、主要な委託業務を近接する県民ホールと一体的に運用することで効率化に努めるとともに、利用状況に対応した設備点検計画を作成し、効率的な業務実施体制を整備した。吊物・床機構や音響設備の部品更新の時期を迎えたことから、県の改修工事が実施された。これらの工事にあたり、ホールを６週間閉め、県と綿密に連携しながら、円滑な施設運営の確保と快適な劇場空間の維持に努めた。

・合同施設の管理組合構成員であるNHK横浜放送局や県とは定期協議の場を設け、アトリウムの利用調整を図り、合同施設一体となった対応を行った。

イ　芸術劇場の施設を活用する事業 収２

・令和７年度は、学術会議や講演会などの公益目的以外の一般利用はなかった。

ウ　駐車場の運営等 収１

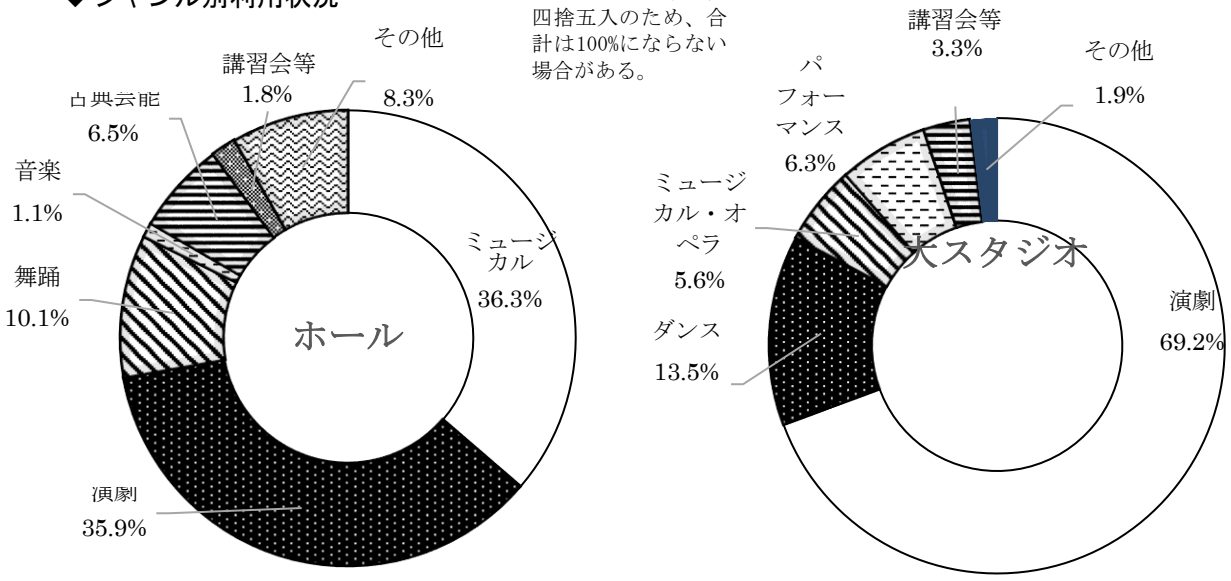
・地下駐車場の管理運営を行った。駐車場構内や自動二輪駐輪場の写真をホームページに掲出し、屋内駐車場であることの安心感等をアピールし、周辺の屋外コインパーキングとの差別化を図るとともに、当日上限料金の適用などを継続し利用促進に努めた。

◆主要施設別利用状況　　※その他施設…中スタジオ、小スタジオ、アトリエ等

		ホール	大スタジオ	その他施設
年間日数		365日	365日	
休館日数		８日	７日	
保守点検日数		70日	14日	
利用可能日数　Ａ		287日	344日	
利用日数	主催事業	89日	99日	
	共催事業	13日	26日	
	提携事業	２日	81日	
	一般利用	170日	93日	
	計　Ｂ	274日	299日	
空き日　Ａ－Ｂ		13日	45日	
利用率　Ｂ／Ａ		95.5%	86.9%	
入場者数		189,542人	51,971人	28,950人
合計入場者数		270,463人		
利用料金収入		190,677,321円		

◆ジャンル別利用状況

※小数点以下第２位四捨五入のため、合計は100%にならない場合がある。



◆令和７年度に行った財団執行による主な施設設備修繕・改修等

・ビュッフェ系統空調機外気ダンパ交換工事
巡視点検においてビュッフェ系統空調機外気ダンパの開閉動作異常を確認したため、当該外気ダンパの交換工事を実施することにより、ビュッフェ系統の適切な空調環境の維持を図った。
契約金額：８０３，０００円

（その他の取組）

取組名	内容
避難体験 in KAAT ＃3 ≪スタジオコンテナ大感謝祭≫	観客も交えて行う避難体験公演の第三弾。劇作家・小林賢太郎氏のアトリエ「スタジオコンテナ」の大感謝祭イベント中に大きな地震と火災が起きるという想定にて有観客の避難訓練を実施した。今回は２日間にわたるイベント構成とし、１日目に避難訓練を行い、２日目には１日目の避難の様子を収録した映像を用いて振り返りを行った。 今回は初めて３階席まで満員となった状況下での訓練となったが、全員の安全な避難が円滑に行えることを確認した。また、来場者に加え、出演者および舞台スタッフの避難も行うことで、より実際の災害時を想定した避難訓練を実施することができた。 さらに、観客のみならず中スタジオで稽古中だったカンパニーやNHK横浜放送局職員も避難に参加するなど、劇場全館を対象とした避難訓練となった。非常時における行動で何が重要かを再確認し、関係者全体の危機意識を高める有意義な機会となった。 開催日：令和７年７月12日(土)、13日(日) 会場：ホール 企画・構成・演出：小林賢太郎 入場者数：７月12日　1,087名、13日　1,044名

（３）音楽堂

ア　芸術文化に関する施設維持管理運営事業　公１

・利用率は昨年より 2.7 ポイント減少したものの、コロナ禍前かつ平成 30 年度改修休館以前（平成 27～29 年度利用率：84.9～92.6%）に近い数値を維持できている。しかしながら、今後も継続的利用率促進の努力が必要である。
【参考】令和４年度 83.1%、５年度 84.0%、６年度 86.9%、７年度 84.2%

・施設面では、各設備や部品の顕著な経年劣化が見られるため、県と密接に連絡を取りながら、安全を留意し、提言を含め必要な対応を行っている。
令和７年度の主な工事としては、取り付けた改修工事以降７年が経過してランプ切れ警告表をし始めた客席足元灯（LED）の交換工事、不具合の出た非常放送システムの更新工事、複数回破損した客席ドアのクローザーのその都度の交換工事を行った。また、神奈川県による工事としては、ホワイエ女子トイレの和式（２か所）を洋式化するための工事、館内全トイレに対する温水洗浄便座取付工事、雨漏り改修工事のための事前調査工事が行われた。

・参加者を少人数に分けて、丁寧な説明と対話を行うことで好評を得ている「前川建築見学ツアーin 音楽堂」は、引き続きボランティアグループ bridge に協力（ガイド）を得て開催。鑑賞サポート付きツアー、主催公演開演前の時間を利用したツアーなど、より多様な県民に参加いただけるような工夫を施し実施した。今後も県指定重要文化財でもある当館の特徴を多くの人々に広めて行く。

・紅葉ケ丘公立文化施設５館の連携活動、通称「紅葉ケ丘まいらん」では、令和８年２月、青少年センターにおける「子どもフェスティバル」に出展、また１～２月にスタンプラリーを実施し、５館合同イベントを実施した。紅葉ケ丘の文化ゾーンに建つ文化施設が連携することにより、住民との交流を通して地域の活性化、さらには新たな顧客獲得につなげていく。

・令和７年度末を以てミーティングルームは音楽堂の管理を終了し、令和８年度より県立図書館に移管する。これまで同室にて行っていた主共催事業における託児サービス、一部の楽屋利用、主催事業でのイベント、抽選会等は、内外の代替施設を利用することになる。

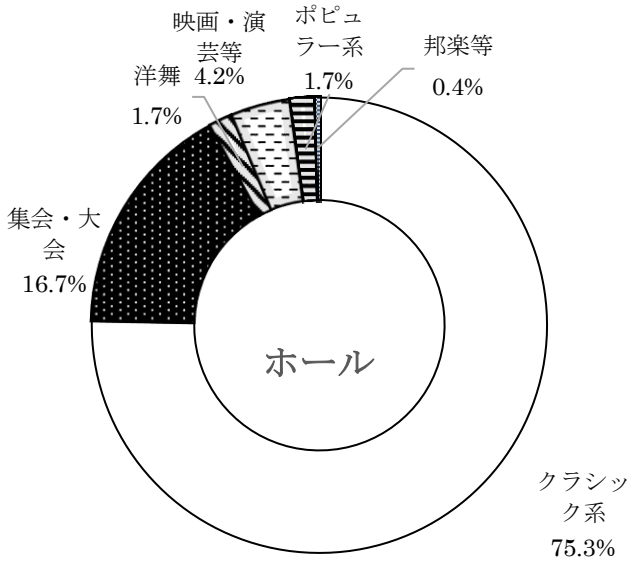
イ　音楽堂の施設を活用する事業 収2

・公益目的の利用（芸術文化に係る公演等）が見込まれない場合は、ホールを講演会あるいは研修会などのための利用に貸し出し、その収益を公益目的事業の財源に充当した。ホワイエ等建物の空間を使った雑誌や広告の撮影の要望も増えており、こうした例も含めて利用料の増に寄与するよう活用している。

◆ 施設利用状況

		ホール
年間日数		365日
休館日数		50日
貸出不能日		31日
利用可能日数　A		284日
利用日数	主催事業	25日
	共催事業	36日
	一般利用	178日
	計　B	239日
空き日　A－B		45日
利用率　B／A		84.2%
入場者数		121,742人
利用料金収入		34,734,215円

◆ ジャンル別利用状況



※小数点以下第２位四捨五入のため、合計は100%にならない場合がある。

◆令和７年度に行った財団執行による主な施設設備修繕・改修等

・客席足元誘導灯LEDユニット・バッテリー交換工事

概　　要：ホール内通路部分の足元灯（LED）のバッテリー切れを事前予告するランプが点滅し始めた為、交換工事を行った。

契約金額：434,500円

・非常放送設備更新工事

概　　要：緊急地震速報で、震度5強以上を検知した場合にホール内にも非常放送を流すシステムが経年劣化で故障したため、交換工事を行った。

契約金額：880,000円

・客席扉・ドアクローザー交換工事

概　　要：ホール客席ドアの上部に設置しているドアクローザーが破損したため交換した。

契約金額：192,500円

・客席扉・チェック取付工事

概　　要：ホール客席ドアが開き過ぎるとクローザー部分が破損してしまうため、扉上部に純正のドアチェック（ストッパー）を取り付けた。

契約金額：182,600円

（その他の取組）

取組	内容
紅葉ケ丘まいらん (紅葉ケ丘５館連携事業) (連携館) 神奈川県立音楽堂、神奈川県立図書館、神奈川県立青少年ギャラリー、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリー	① ５館合同イベント 令和７年12月４日(木)にNPO法人横浜シティガイド協会との共同主催により「まいらんさんぽ～紅葉ケ丘の文化施設を巡るガイドツアー」を開催し、各館での施設見学会を実施した。 令和８年１月31日(土)～２月15日（日)に「横浜・紅葉ケ丘まいらんスタンプラリー」を開催。連携５館に加え、伊勢山皇大神宮も特別参加し、６か所を巡るスタンプラリーのほか、各館それぞれの日程で館の特徴を生かした様々なイベントが展開された。 ② 他館でのイベント 令和８年２月８日(日)に県立青少年センター「子どもフェスティバル」において連携5館を紹介するブースを展開した。 ③ ５館合同でパンフ・チラシ等を作成 地域のさんぽマップを掲載したパンフ、スタンプラリーができるイベント告知チラシ等を作成した。各施設が知恵を出し合い、人々が近隣地域を周遊しやすいようなイベントやスタンプラリー&プレゼントを企画、広報を行った。 ④ 館長会議、連絡会議 令和７年６月５日(木)に連携５館の館長会議を実施。また毎月１回、担当者による連絡会議を行った。

３．本部事業、その他事業 公１ 収１ 収２

（１）社会連携ポータル部門 公１

ア　社会連携ポータル事業

社会連携ポータル部門は、財団のミッションである「感動を分かち合う」「未来につなぐ」を着実に具現化するため、第４期指定管理の開始にあわせて新たに設立された部門である。本部門は、①専門人材の育成、②学校教育へのアプローチ、③あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ、④地域との連携を強化する機能の四つの取組を柱に掲げ、各館事業と連携・協働しながら、分野横断的かつ継続的な取組を推進してきた。令和７年度は、これまで４年間にわたり培ってきた取組を基盤としつつ、とりわけ鑑賞サポートを軸としたインクルーシブアプローチや人材育成の分野において社会教育と連携する等の新たな試みを展開し、取組の質的拡充および発展を図った。また、こうした新たな取組や、鑑賞機会が限られている子どもたちを対象とした公演招待においては、地域の行政や教育団体との連携・協力関係を築き、実践の幅を広げることができた。今日、社会や地域が抱える課題の解決に向けて、芸術文化および文化施設に期待される役割は一層大きなものとなっており、誰もが芸術文化にアクセスできる環境を構築することの重要性は、ますます高まっている。神奈川県民ホールの休館により、県域展開事業をはじめとして、財団が県内各地へ出向き、県民に対してより主体的に働きかける機会が増大すると想定される中、社会連携ポータル部門には「社会と芸術をつなぐ窓口＝ポータル」としての役割が、これまで以上に求められている。財団と社会を結ぶ中核機能として、第５期指定管理期間においても、当部門に期待される役割を的確に捉え、時代や地域の要請に応答する取組の在り方を引き続き探求していく。

■社会連携ポータルの取組

※県民ホール、芸術劇場、音楽堂の３館共通の取組であり、各施設の芸術文化事業と重複した項目も再掲している。

① 専門人材育成プログラム
舞台芸術・劇場運営分野の専門人材育成

開催日	取組名	人数等
６月10日(火)	KAAT舞台技術講座2025 「実現するちから」を学ぶ～ヘアメイク編～	13
６月21日(土)	KAAT人材育成プログラム 第３回 グリーンシアター・ワークショップ 「ライフサイクルアセスメント(LCA)を活用して、持続可能な未来を目指そう」	17
９月９日(火)	人材育成講座 「ピアレビューがもたらす可能性～改善・実践につながる”レビュー文化”を考える～」	18

令和８年 ①　１月25日(日) ②　１月26日(月)	KAAT舞台技術講座2026 制作者のための舞台技術講座	①23 ②22
３月５日(木)	KAAT人材育成プログラム 第４回グリーンシアター・ワークショップ ＜未来につなぐアクションへ～設計ガイドと実践のヒント＞	21

インターン・研修生の受け入れ

開催日	取組名	人数等
６月15日(日)	2025年度 神奈川県立音楽堂＆神奈川県民ホール オンライン インターン説明会	5
８月19日(火) ～８月29日(金)	2025年度神奈川県立音楽堂＆神奈川県民ホールインターン	7
令和８年 １月28日(水) ～２月12日(木)	KAAT人材育成事業2025年度インターン 舞台技術コース	3
３月24日(火) ～３月29日(日)	KAAT人材育成事業2025年度インターン 劇場運営コース	3

教育機関（大学）との連携による人材育成

開催日	取組名	詳細	人数等
①　６月７日(土) ②　10月30日(木) ③　11月13日(木) ④　11月22日(土)	KAAT大学連携	①玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科 劇場接遇演習 ②静岡文化芸術大学デザイン科 施設見学及びレクチャー ③名古屋芸術大学芸術学部芸術学科 舞台芸術領域 施設見学及びレクチャー ④玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科 舞台照明レクチャー	①12 ②７ ③17 ④14
①　10月14日(火) ②　11月25日(火)	昭和音楽大学 寄付講座	「芸術運営論Ⅱ」「芸術文化と社会Ⅱ」	①38 ②33

② 学校教育へのアプローチ
教育現場へのアプローチ

開催日	取組名	詳細	人数等
７月４日(金)	(社会教育との協働事業) 「日本語支援拠点施設ひまわりアウトリーチ」 ／県民ホール	社会連携ポータル課の役割のうち、『教育分野との連携・協働』、『インクルーシブな取組』の２つに関連する取組として、横浜市の日本語教育施設と協働し、横浜市在住の外国にルーツを持つ子どもたちに生の音楽を体験する機会を提供。演奏を聴くだけではなく、手拍子や体を動かす活動を取り入れ、演奏者と子どもたちがコミュニケーションを取りながら、音楽を体感できるようなプログラムを実施。	生徒：17名 教員：15名

① ７月29日(火) ～７月31日(木) ② ８月８日(金) ③ 10月20日(月)	教育機関連携事業 神奈川総合高等学校 夏季特別講座 「応用舞台技術」 2025／KAAT	神奈川総合高校舞台芸術学科教育課程のプログラムの一環として下記特別講座を実施。 ①舞台技術の体験プログラム（２年生） ②講義（２年生） ③劇場内施設見学（１年生） 講師：長塚圭史、堀内真人、大石真一郎 舞台技術スタッフ	① 32 ② 27 ③ 26
８月22日(金)	先生のためのアウトリーチ研修会 (県立音楽堂 ホール・ホワイエ) ／音楽堂	音楽堂の企画による学校の先生を主な対象としたアウトリーチに関する研修会。普通校の先生だけでなく、支援学校の先生、芸術文化団体や文化施設の職員、アーティストなどが参加。鑑賞サポートグッズ(イヤーマフ、フィジェット・トイ、触る模型、触図など)の展示。	71
11月19日(水)	先生のためのアウトリーチ／音楽堂	小中学校の先生を主な対象として、県内各地にアーティストを派遣し、ワークショップ型プログラムの体験機会をつくり、今後の子どもたちへの授業のヒントになることを目指すアウトリーチ。	20
令和８年 ３月10日(火)	東京都立中央ろう学校社会見学（施設見学）／KAAT	東京都立中央ろう学校の社会見学の受け入れ。６年生(高校３年生に該当)を対象に、舞台芸術を楽しむ場所として、また様々な役割の人が働く場所としての劇場を紹介する内容とした。聴覚に障害がある生徒たちに情報を伝えるため、手話通訳を実施。	30

③ あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ
あらゆる人々が芸術文化に親しみ、楽しむことができるための取組

開催日	取組名	詳細
４月19日(土) ４月20日(日)	鑑賞サポート／県民ホール リーディングドラマ 『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』	ヒアリングループ：１ イヤーマフ：１ フリーエリア：４
５月24日(土)	鑑賞サポート／音楽堂 小中高校生のための公開リハーサル	イヤーマフ：３ フィジェット・トイ：６
６月27日(金)	鑑賞サポート／音楽堂 シリーズ「新しい視点」 ダニエル・オッテンザマー クラリネット・トリオ・アンソロジー	
７月５日(土)	鑑賞サポート／音楽堂 小中高校生のための公開リハーサル	拡大文字プログラム：１ イヤーマフ：２ フィジェット・トイ：８ 車いす利用者：１

7月 21 日 (月・祝) ～7月 27 日(日)	鑑賞サポート／KAAT KAAT キッズプログラム 2025 「わたしたちをつなぐたび」	ポータブル字幕：5 音声ガイド：4 ヒアリングループ：1 イヤーマフ：4 フィジェット・トイ：27
7月 26 日(土) ～7月 27 日(日)	鑑賞サポート／KAAT KAAT キッズプログラム 2025 「鏡の中の鏡」	ポータブル字幕：6 音声ガイド：4 上演台本：1 イヤーマフ：3 フィジェット・トイ：8
8月2日(土)	鑑賞サポート／県民ホール C x Organ パイプオルガンを訪ねる旅 in 横浜 夏休み、フェリスホールのオルガンを知ろう！	イヤーマフ：3 フィジェット・トイ：2
8月9日(土)	鑑賞サポート／県民ホール C x Organ　パイプオルガンを訪ねる旅 in 茅ヶ崎 夏休み、茅ヶ崎恵泉教会のオルガンを知ろう！	拡大文字プログラム：4 白黒反転プログラム：6 フィジェット・トイ：3
8月11日 (月・祝)	鑑賞サポート／県民ホール 神奈川フィルハーモニー管弦楽団と巡る 県内オーケストラコンサート in 伊勢原	点字プログラム：1 拡大文字プログラム：9 白黒反転プログラム：9 イヤーマフ：4 フィジェット・トイ：5
8月24日(日)	鑑賞サポート／県民ホール 神奈川フィルハーモニー管弦楽団と巡る 県内オーケストラコンサート in 南足柄	拡大文字プログラム：1 イヤーマフ・耳栓：9 フィジェット・トイ：9
9月6日(土)	鑑賞サポート／県民ホール KANAGAWA ロックサーキット 「語り継ぐロックの伝説」 All You Need is LOVE RIVER《愛川こそすべて》 ～THE BEATLES フリークがやって来るヤァヤァヤァ！	
9月13日(土)	鑑賞サポート／県民ホール 歌って、弾いて、お話しして ～ ご存じ青島広志先生のモーツァルト・レクチャー ～	拡大文字プログラム：10 白黒反転プログラム：10 フィジェット・トイ：2
9月27日(土)	鑑賞サポート／県民ホール 音楽絵本『奇妙なマザーグースの話』 ～「怖い」「奇妙」な歌で元気になる⁉～ 【松田町公演】	フィジェット・トイ：3
9月28日(日)	鑑賞サポート／県民ホール 音楽絵本『奇妙なマザーグースの話』 ～「怖い」「奇妙」な歌で元気になる⁉～ 【清川村公演】	
10月11日(土)	鑑賞サポート／音楽堂 音楽堂ヘリテージ・コンサート ジャン＝エフラム・バヴゼ ピアノ・リサイタル	

10月15日(水)	鑑賞サポート／県民ホール 砂川涼子＆園田隆一郎 デュオ・コンサート ～モーツァルトを旅する午後～	拡大文字プログラム：３ 白黒反転プログラム：１
10月26日(日)	鑑賞サポート／KAAT みんなのKAAT やさしいバックステージツアー	9
11月２日(日)	鑑賞サポート／音楽堂 音楽堂ヘリテージ・コンサート ナタリー・デセイ＆フィリップ・カサール デュオ・リサイタル	
11月８日(土) 11月９日(日)	鑑賞サポート／県民ホール 藤沢市民オペラ 関連事業 オペラシリーズ モーツァルト オペラ《羊飼いの王様》全２幕 (演奏会形式／イタリア語上演・日本語字幕付)	拡大文字プログラム：５ 白黒反転プログラム：６ ヒアリングループ席：１ イヤーマフ：１ フィジェット・トイ：４
11月14日(金) ～11月30日(日)	鑑賞サポート／KAAT KAAT×城山羊の会 「勝手に唾が出てくる甘さ」	字幕タブレット：１ フィジェット・トイ：５
11月16日(日)	鑑賞サポート／音楽堂 大人のための音楽堂　tic! tac! toe!	
11月22日(土)	鑑賞サポート／県民ホール グリーンホール相模大野開館35周年記念 The Sixteen(ハリー・クリストファーズ 指揮)	拡大文字プログラム：10 白黒反転プログラム：８
11月27日(木) ～11月30日(日)	鑑賞サポート／県民ホール C x JAZZ　壷阪健登 × デューク・エリントン	拡大文字プログラム：19 白黒反転プログラム：10 イヤーマフ：３ 耳栓：４ フィジェット・トイ：３
12月７日(日)	鑑賞サポート／音楽堂 第58回クリスマス音楽会 ヘンデル「メサイア」全曲	
12月21日(日)	鑑賞サポート／県民ホール 音楽絵本『奇妙なマザーグースの話』 ～「怖い」「奇妙」な歌で元気になる⁉～ 【戸塚公演】	白黒反転プログラム：２ イヤーマフ：１ フィジェット・トイ：４
12月23日(火)	鑑賞サポート／県民ホール KANAGAWA ロックサーキット 「語り継ぐロックの伝説」 ADDONE LET'S FUNKY XMAS GIG	イヤーマフ：２ 耳栓：１
令和８年 １月11日(日)	＜KAAT神奈川芸術劇場開館15周年記念イベント＞ トークセッション「ひらかれた劇場をめざして」	舞台上手話通訳実施

令和８年 １月23日(金)	鑑賞サポート／県民ホール KANAGAWAロックサーキット 「語り継ぐロックの伝説」 タブレット純 フォークを語る ～伝説のレーベル「エレックレコード」トーク＆上映会～	拡大文字プログラム：８ 白黒反転プログラム：８ 耳栓：10
１月31日(土)	鑑賞サポート／音楽堂 小中高校生のための公開リハーサル	拡大文字プログラム：１ フィジェット・トイ：８
２月７日(土)	鑑賞サポート／県民ホール C x Organ オルガン パイプオルガンを訪ねる旅 in 秦野 中田恵子 オルガンコンサート	
２月11日(水) ～２月23日 (月・祝)	鑑賞サポート／KAAT KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 「冒険者たち～JOURNEY TO THR WEST～」 「帰ってきた冒険者たち～闇に落ちたカナガワを救え～」	字幕タブレット：２ イヤーマフ：１ 耳栓：５ サングラス：１ フィジェット・トイ：26 上演台本貸出：１
２月14日(土)	鑑賞サポート／音楽堂 小中高校生のための公開リハーサル	拡大文字プログラム：10 白黒反転プログラム：３ イヤーマフ：５ フィジェット・トイ：７
２月14日(土)	鑑賞サポート／県民ホール KANAGAWAロックサーキット 「語り継ぐロックの伝説」 QUEEN MEMORIES ＜トーク＆ライブ＞ St.Valentine’s Day ロッキュー・スペシャル	拡大文字プログラム：５ 白黒反転プログラム：18 イヤーマフ：１ 耳栓：４
２月17日(火)	鑑賞サポート／音楽堂 前川建築見学ツアー	手話通訳利用：２ ワイヤレスガイドイヤホン：２
２月13日(金) ～３月１日(日)	鑑賞サポート／KAAT KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「未練の幽霊と怪物－『珊瑚』『円山町』－」	上演台本貸出：１
２月23日(月)	鑑賞サポート／県民ホール KANAGAWAロックサーキット 「語り継ぐロックの伝説」 タブレット純 フォークを語る ～伝説のレーベル「エレックレコード」トーク＆丸山圭子「彩色兼美」ライブ～	拡大文字プログラム：４ 白黒反転プログラム：６
３月14日(土)	鑑賞サポート／県民ホール (社会教育との協働事業) 青島先生、少女マンガ界の貴婦人と語る	
３月20日(土)	鑑賞サポート／県民ホール C x Baroque 大塚直哉が誘うバロックの世界Vol.５」 コンチェルトとソナタ ～バロックの申し子たちの成長とその先	

３月29日(日)	鑑賞サポート／KAAT KAATキッズ・プログラム2025 〈やさしい鑑賞会〉「わたしたちをつなぐたび」	字幕タブレット：４ 音声ガイド：９ タッチツアー参加者：10 事前説明会参加者：７ 点字パンフレット：５ 拡大文字パンフレット：３ 白黒反転パンフレット：７ フィジェット・トイ：14

④ 地域との連携（県域ネットワーク等）
神奈川県全体の広域的なネットワーク化をすすめ、芸術文化の情報交換のハブとして機能する取組

開催日	取組名	詳細
令和８年 １月30日(金)	令和７年度第３回アーツカウンシル・ネットワークミーティング	日本芸術文化振興会が主催する、全国の地域アーツカウンシル及びアーツカウンシル機能を有する団体が加盟するネットワーク組織のミーティング(第３回)。「地域アーツカウンシルの現在地」と題して沖縄、東京、大阪の３域の活動を振り返るトークセッションと、それぞれの地域でのアーツカウンシルの活動、またAC-netの役割について考えるディスカッションを行った。
３月19日(金)	令和７年度 神奈川県障害者芸術文化活動センター 報告会 「地域とともに考える障害福祉と芸術文化」	神奈川県障害者芸術文化活動センター(事務局：STスポット横浜)のワークショップ事業の令和７年度報告会に参加。事業に参加した県内の福祉施設の担当者等と情報交換を行った。

イ　共生共創事業（県からの受託事業）

神奈川県が掲げる理念「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与することを目的として、文化芸術分野においても「ともに生きる ともに創る」を基本方針に据え、年齢や障がいの有無等にかかわらず、子どもから大人まで、すべての人が舞台芸術に参加し、楽しむことができる環境の構築を目指す。令和7 年度も継続して「共生共創事業」を受託・実施した。本年度は、県民参加型の企画やワークショップの実施に重点を置き、県内各地で多角的に事業を展開した。誰もが表現者・参加者となり得る場を創出することで、多様な人々が相互に関わり合い、理解を深める契機となる取組を進めた。また、実際に企画へ参加することが難しい方や、事業実施地点から物理的に距離のある地域の方々にも共生共創事業の理念や活動を届けるため、映像制作や情報発信にも積極的に取り組み、事業の波及効果の拡大を図った。これらの取組を通じて、「ともに生きる ともに創る」という理念を体現する実践的な活動を行うことができた。あわせて、共生社会の推進に資することを目的に、県域における文化資源や取組の現状等に関する調査を実施し、その成果を調査報告として取りまとめた。これにより、今後の共生共創事業の企画立案や施策検討に資する基礎的な知見を蓄積することができた。

■共生共創事業

開催日	会場	公演・企画名	入場者数等（人）
（１）シニア劇団の運営			
かながわシニア創作創造プロジェクト 横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」			
５月10日(土) ５月24日(土)	横須賀市立青少年会館	事前説明会・応募者選考会	14
かながわシニア創作創造プロジェクト 綾瀬シニア劇団Hale			
12月13日(土) 12月14日(日)	横浜にぎわい座 のげシャーレ	第６回公演 『Hale版　ジョバンニの牛乳』	304
かながわシニア創作創造プロジェクト 小田原シニア劇団チリアクオールディーズ			
５月24日(土)	小田原市 観光交流センター	説明会	7
12月13日(土)	小田原市生涯学習センターけやき	『血と歯と眼』	90
（２）シニアダンス企画「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」の運営			
かながわシニア創作創造プロジェクト 「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」			
６月５日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	31
６月12日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	38
６月19日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (オープンクラス)	35
６月26日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	40
７月17日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (オープンクラス)	44
７月24日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	52
８月28日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (オープンクラス)	48

９月18日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	49
９月25日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (オープンクラス)	①30 ②47
10月２日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	53
10月９日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	46
10月10日(金)	逗子文化プラザ さざなみホール	チャレンジ・オブ・ザ・シルバー シニアのためのダンスワークショップ in 逗子	①39 ②25
10月16日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	56
11月６日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	51
11月13日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	55
11月20日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	57
11月27日(木)	孝道山 大広間ほか	シニアのためのダンスワークショップ (経験者クラス)	48
12月25日(木)	湯河原町防災コミュニティセンター	チャレンジ・オブ・ザ・シルバー シニアのためのダンスワークショップ in湯河原	20
令和８年 ３月５日(金)	情報センター真鶴	チャレンジ・オブ・ザ・シルバー シニアのためのダンスワークショップ in真鶴	21
（３）障がい者や高齢者等参加の舞台公演を含む良質な内容の舞台公演やシンポジウムの企画・実施			
「音の探検隊2025」			
４月１日(火)	神奈川県公式 YouTubeチャンネル 「かなチャンTV」	参加型音楽イベント 「あつまれ！音の探検隊 2024 in 平塚」 ダイジェスト映像	410

５月24日(土) ５月25日(日)	KAAT 神奈川芸術劇場〈トリウム〉	「音の探検隊」ワークショップ	155
12月11日(木)	多機能型事業所LEO	「音の探検隊」ワークショップ	15
12月16日(火)	社会福祉法人至泉会ソーレ平塚	「音の探検隊」ワークショップ	25
令和８年 １月13日(火)	社会福祉法人至泉会ソーレ平塚	「音の探検隊」ワークショップ	83
１月24日（土）	多機能型事業所LEO	「音の探検隊」ワークショップ	18
２月10日（火）	社会福祉法人至泉会ソーレ平塚	「音の探検隊」ワークショップ	43
２月23日（月）	多機能型事業所LEO	「音の探検隊」ワークショップ	20
３月25日(水)	神奈川県公式YouTubeチャンネル「かなチャンTV」	「音の探検隊 2025｜音と出会い、自分をひらくワークショップ」 (映像作品)	131 (3月31日時点)
神奈川県あそび歌プロジェクト『世界のうたとあそぼう！』			
８月８日(金)	都田西小学校放課後キッズクラブ	『世界のうたとあそぼう！』 ワークショップ	57
10月４日(土)	共生共創事業 YouTubeチャンネル	第１弾 やってみよう！世界のあそび歌 ５曲配信	608
10月５日(日)	①ノースポートモール ２Fステージ ②つづきMYプラザラウンジ	『世界のうたとあそぼう！』 DE&Iフェスティバル	87
令和８年 １月26日(月)	小田原市立 富水小学校	『世界のうたとあそぼう！』 ワークショップ	140
１月30日(金)	東京横浜独逸学園	『世界のうたとあそぼう！』 ワークショップ	26
３月８日(日)	フジサワ名店ビル ６階　スタジオ	『世界のうたとあそぼう！』 ワークショップ	16

３月23日(月)	共生共創事業 YouTubeチャンネル	第２弾 やってみよう！世界のあそび歌 ７曲配信	209
精神障害を考える演劇ワークショップ・プロジェクト			
① 11月12日(水) ② 11月26日(水)	紫雲会横浜病院	「精神障害を考える演劇ワークショップ・プロジェクト」 ワークショップ（２回)	①16 ②19
令和８年 ① １月7日(水) ② １月13日(火)	慶神会武田病院	「精神障害を考える演劇ワークショップ・プロジェクト」 ワークショップ（２回)	①17 ②21
① １月26日(月) ② ２月２日(月) ③ ２月９日(月)	神奈川県立精神医療センター	「精神障害を考える演劇ワークショップ・プロジェクト」 ワークショップ（３回)	①15 ②12 ③12
３月１日(日)	Art Center NEW	『IKIZAMAミュージックでぃなーしょー』	156
公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団 「みんなのスマイル・コンサート」			
11月20日(木)	厚木市文化会館	「みんなのスマイル・コンサート」	265

（４）その他の取組

共生共創通信の発行	①第20号　令和７年12月26日(金)発行 巻頭特集：表現する喜びと可能性を分かち合う ②第21号　令和８年３月10日(火)発行 巻頭特集：言語の壁による孤独や孤立を防ぐ

（５）調査研究業務

共生社会の実現や未病等を意識した魅力的なコンテンツの創出と発信を行い、共生社会の実現に寄与することを目指すためには、神奈川ゆかりのアーティスト、演目、文化イベント等の文化資源を見出し、今後の事業に活用していく必要がある。そのため、舞台芸術に関する専門人材を用いて、共生社会の実現又は未病を意識した舞台公演等が可能なコンテンツを幅広く調査・発掘した。

① 横浜・川崎地域　３件(横浜市　３件)
② 横須賀三浦地域　１件(横須賀市１件)
③ 県央地域　１件(相模原市１件)
④ 湘南地域　１件(茅ヶ崎市１件)
⑤ 県西地域　１件(小田原市１件)
⑥ その他地域　３件(東京都　２件、埼玉県１件)
合計10件

（６）神奈川県内の文化事業に対する助言や実施確認等
ア　演劇等の舞台公演の実施者としての知見を生かし、発注者の求めに応じて、神奈川県の補助金交付団体等の実施する文化事業の現地確認等を行い、神奈川県の共生共創事業における今後の実施可能性等も含めて発注者に報告・助言等を行った。（文化芸術活動団体事業補助金５件、マグカル展開促進補助金５件、全10件） イ　神奈川県内の文化団体等に対し、神奈川県の共生共創事業の周知及び神奈川県の文化プログラム認証の活用に向けた普及・啓発活動を行った。

（２）県域の芸術文化財団への業務協力　公１

当財団は、公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団から、当該財団が鎌倉芸術館の指定管理業務を行うに当たり、業務協力の依頼を受けた。当該財団への業務協力は、県域における芸術文化の振興の一助となることから、当財団は、令和４年４月から引き続き、鎌倉芸術館に対する業務協力を行った。

・相手先：公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団
・内　容：鎌倉芸術館の管理運営協力
・方　法：当財団企画制作作品の提供等

（３）芸術文化に関する情報の収集提供　公１

・情報誌「神奈川芸術プレス」を９月と３月の２回発行（※）。読者に芸術文化への親しみをより感じてもらうため、内容は財団の主催事業に限らず、県域の芸術文化情報、文化施設の取組、様々な領域のアーティストへのインタビュー、舞台芸術の世界を支えるスタッフの紹介などバラエティに富む内容で発行した。また芸術文化と社会の架け橋になる取組として社会的関心の高いインクルーシブ関連の事例についても昨年度に引き続き紹介した。

（※）令和６年度に関しては12月に発生した外部からのサイバー攻撃の影響により、発行内容と時期を変更し、WEB版のみを令和７年５月に公開したため、冊子版としては１年ぶりの発行となった。

・９月発行号では「未来をつくる人たちへ」の特集タイトルで、県域展開事業『ふしぎ駄菓子屋　銭天堂』や『音楽堂　小中高生のための公開リハーサル』ほか、県内の次世代の芸術体験の取組等についてとりあげた。

・３月発行号では「まちと響きあう表現」の特集タイトルで、県域展開事業『藤沢市民オペラ』音楽堂『メサイア』ほか、市民と地域を巻き込んだ芸術活動について取り上げた。また２号とも、連載のインタビューではKAATの主催、共催公演のスタッフなどを取り上げた。

・配架については県内の公共施設、駅広告ラックや書店、音楽教室などを中心に、県域全体に行き渡るよう配慮した。令和８年度からは第５期指定管理期間に入り、リニューアルを予定しているため、これまでの読者アンケート等によりニーズを分析し、ウェブ版、SNSによる発信強化などにも取り組んでいく。

【情報誌「神奈川芸術プレス」】

内容	
特集	連載
【令和７年９月発行 vol.167】 （A４判　18,000部発行） **［特集］未来をつくる人たちへ** WORKS ・劇場留学～「モモ」と時間の旅から モモ インタビュー：川口智子 CASE ・横浜美術館 子どものアトリエ ・インクルーシブ・ベイビーシアター「かぜのうた」 ・音楽堂 小中高生のための公開リハーサル ・さかえdeつながるアート ティーンズクリエイション ・KAATキッズ・プログラムの14年間 インタビュー：大池容子 INTERVIEW ・大崎清香（詩人） ・片岡純也＋岩竹理恵（アートユニット）	**●アートシーン・プレイバック** ・2025年上半期のダンスプログラムをふりかえる ・2025年上半期の音楽プログラムをふりかえる **●つなぐ―社会と芸術** ・文化による豊かな交流を―「チャレンジ。オブ・ザ・シルバー」ドイツに展開 **●公演の舞台裏** ・アクション編　前田悟（アクション）
【令和８年３月発行 vol.168】 **［特集］まちと響きあう表現** （A４判　17,000部発行） TOPICS １.「藤沢市民オペラ」 ２.「カナガワ ポトガラヒー 出張浅田撮影局｜開成編・真鶴編」 ３.神奈川県立音楽堂と市民合唱 ４.「黄金町バザール」 ５.「横濱JAZZ PROMENADE」街角ライブ INTERVIEW ・山本理顕（建築家） ・アオキ裕キ（ダンサー／振付家） COLUMN ・旅と浮世絵 家田奈穂（平塚市美術館学芸員）	**●アートシーン・プレイバック** ・2025年下半期の美術・演劇プログラムをふりかえる **●つなぐ―社会と芸術** ・来日間もない子どもたちに向けたサクソフォン四重奏によるアウトリーチ **●公演の舞台裏** ・照明デザイナー編　久松夕香（照明家）

（４）かながわメンバーズの運営 公１

・芸術文化の普及、鑑賞機会の提供の拡充を目指し、インターネットを利用して24時間チケットの予約・購入が可能な無料の会員登録制度「かながわメンバーズ（KAme）」を運営し、情報提供やサービス提供を行った。

・２週間に１回の定期メールマガジン配信（※）及び年初ほか臨時配信による最新のチケット発売情報などの提供とともに、会員限定の先行予約サービスを実施した。令和７年度のかながわメンバーズ新規登録者数は11,226人、退会者も含めて差し引いた年度末時点での会員総数は157,931人であった。

(※)令和６年12月に発生した外部からのサイバー攻撃の影響により通信環境が制限されていたことから９月まではメルマガ配信を１回とし、10月から通常の２回配信とした。また芸術劇場が令和８年１月11日に開館15周年を迎えたことから関連イベントについての臨時メルマガを発行した。

（５）チケットかながわの運営及び団体販売等の促進 公１

・芸術劇場・音楽堂で開催される主催、共催、提携、貸館公演のチケット販売を行うためにチケットセンターの運営を行い、併せて休館中の県民ホールが展開する県域展開事業も含めた主催公演の票券管理補助業務を行った。インターネットと電話による通信販売に加え、２館での窓口販売、また県域も含めた当日券の会場販売に対応した。電話販売においては、単にチケットを販売するにとどまらず、公演や会場周辺に関する情報の提供、会場のアクセス情報、各種セット割引等の案内、各種鑑賞サポートの案内、インターネットによる購入方法の説明なども行い利用者サービスの向上を図った。

・令和５年度からは、すべての主催公演においてチケットレスに対応している。

・主催公演チケットの販売促進の一環として、各種団体・会員組織向けのインターネットを利用した割引販売を継続して行った。

（６）資金調達活動 公１

事業内容や広報活動等の一層の充実のため、国庫補助金や助成金など外部資金の獲得に努め、さらに広く当財団の活動趣意に賛同いただける企業・個人からの支援をいただくための活動を行った。

ア　文化庁等からの補助金・助成金の確保

【令和７年度獲得実績】※千円未満切り捨て

助成団体等		件数	金額（千円）
日本芸術文化振興会（ 文化庁）「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」	劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業	1	46,313
	地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	1	3,850
日本芸術文化振興会（ 文化庁）「舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）」	国際共同制作公演（海外公演）	1	2,670
地域創造	地域の文化・芸術活動助成事業	1	8,187
ロームミュージックファンデーション ほか	民間助成団体等の助成金（一部令和８年度までの暦年助成を含む）	6	12,167
	合計	10	73,187

イ　賛助会員制度の運営

・賛助会員の新規入会や継続について積極的に働きかけ、年間を通じた財団運営や事業制作に対して、多くの法人・個人の方よりご寄付をいただいた。

・賛助会員への特典として、主催公演への招待、館内芳名板・ホームページ・配布プログラム等への芳名掲載、「神奈川芸術プレス」の送付、KAmeメールマガジン配信、チケットの割引販売などを行った。また会員限定特典イベントとして、財団の活動説明や会員同士の交流を促進する交流会や県域展開事業「C×Baroque 大塚直哉が誘うバロックの世界vol.５（横浜みなとみらい小ホール）」への公演招待などを行った。

【会員数・寄付金額】

種別	会員数	寄付金額（千円）
法人賛助会員	44社	4,700
個人賛助会員	16名	480
永年個人賛助会員	２名	0
	合計	5,180

≪賛助会費を経費の一部に充てて開催された公演等≫

「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト」「紅葉坂Vol.５」「音楽堂アウトリーチ」等に充当した。

ウ　その他協賛金等の獲得

賛助会員による年間を通した支援とは別に、公演や事業を特定した協賛、財団が主催する事業全般への寄付、各種広報媒体への広告等、様々な手法による支援をいただいた。またオンライン小口寄付を芸術劇場、音楽堂で実施し、その他の寄付等と合わせて多くの個人の方より御支援をいただいた。芸術劇場のオンライン小口寄付は「HeartKAAT」のブランド名やロゴマークを改めて定めて今後への展開を開始した。

【個別協賛・その他】

対象事業	件数（社）	合計金額（千円）
KAAT EXHBITION 2025　大小島真木展	2	1,100
KAAT EXHBITION 2026　彫刻される劇場	1	100
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 『最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote 』	1	316
KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第三弾 『冒険者たち ～JOURNEY TO THE WEST～』 『帰ってきた冒険者たち ～闇に落ちたカナガワを救え！～』	1	110
音楽堂主催事業全般	1	200
一般寄付、オンライン小口寄付等	72	658
合計	78	2,484

【広告協力】

内容	法人数（社）	金額（千円）
広告協力	1	50
合計	1	50

（７）管理組合の運営業務受託 収2

芸術劇場及び日本放送協会横浜放送会館合同施設のうち、指定された敷地・建物の清掃、保全、保守、植栽、じん芥処理及び消毒業務等の施設維持管理業務を行った。あわせて、アトリウムでのイベントに関する芸術劇場の公演等との調整や、日本放送協会と芸術劇場共用の搬入車路の調整など、合同施設全体の各種の利用調整を行った。

（８）法人本部の運営 法人

理事会・評議員会等の運営、事業評価の実施、職員の資質向上のための研修の実施、県主導第三セクター及び公益法人の運営に関すること（総務、経営企画、人事、会計、県との連絡調整等）などを行った。

ア　理事会・評議員会等の実施状況

・	理事会	令和７年６月３日(火)	第１回通常理事会
		10月22日(水)	第１回臨時理事会
		令和８年３月10日(火)	第２回通常理事会
・	評議員	令和７年６月18日(水)	定時評議員会
		11月12日(水)	第１回臨時評議員会
		令和８年３月18日(水)	第２回臨時評議員会

イ　職員研修

財団本部による新入職員研修、情報セキュリティ研修、Teams運用に関する管理者講習、産業医によるメンタルヘルス研修を行ったほか、衛生推進者養成研修、公益法人会計研修、カスタマーハラスメント対策研修、煙火消費保安手帳講習、フォークリフト運転技能講習、公共劇場舞台技術者連絡会等に職員を派遣し研修を行った。また全国公立文化施設協会、神奈川県公立文化施設協議会、日本プライバシー認証機構等が実施するオンライン研修の機会を積極的に活用した。

ウ　事業評価(外部評価の実施状況)

・外部評価員が主催事業の実地見学を実施し、事業評価シート（個票）に個別事業の評価を記述。
・年度を通した総合的な評価として、個別事業評価等を参考に事業評価シート（総合）に評価を記述。その書面評価に加えて、外部評価員と職員とが出席する「事業評価会議」を開催し、意見交換や議論の上、当該年度の事業評価を総括する。

令和６年度事業評価状況	外部評価員(委嘱)　６人
	実地見学実施事業数　26事業
	事業評価会議の実施　令和７年９月８日(月)
令和７年度事業評価状況	外部評価員(委嘱)　５人
	実地見学実施事業数　19事業
	事業評価会議　令和８年６月30日(火)予定

エ　寄付講座

財団本部の事業として、昭和音楽大学生約 40 名を対象に、同大学のアートマネジメントコース２年次必修科目／全学部・短大各コース２年次以上選択科目である『芸術運営論Ⅱ』、アートマネジメントコース３年次必修科目である『芸術文化と社会Ⅱ』に当財団が出講（寄付講座）し、当財団職員が分担して教壇に立ち、10 月 14 日と 11 月 25 日にそれぞれ１コマ 100 分、計２日間 200 分の授業「自由な発想で考える― 神奈川県民ホール・神奈川県立音楽堂の企画制作―」「芸術と社会をつなぐ窓口に～神奈川芸術文化財団 社会連携ポータル課の取組み」を行い、授業後の提出課題指導などを行った。

４．その他

○情報セキュリティポリシーの制定について

令和６年12月のサイバー攻撃以降、財団情報システムの復旧並びに新たなシステム・ネットワーク環境の構築を行ってきた。令和７年７月の新システム・ネットワーク環境の稼働開始により一定程度の完了をみたところで、財団の情報セキュリティ対策について総合的、体系的かつ具体的に取りまとめ、組織内の意思統一を図ることを目的に、専門家の知見を取り入れながら、令和８年２月４日、新たに情報セキュリティポリシーを制定した。このことにより、これまでの情報セキュリティ規程を廃止し、情報セキュリティポリシーに統一した。今後も情報セキュリティ体制の強化を継続的に取り組んでいく。

※２ページ以降の凡例（公１、収１、収２、及び法人）は、公益認定及び会計上の分類を示す。
◆公益目的事業
公１　芸術文化事業及びそのための施設運営に関する事業、芸術文化の情報収集提供、調査研究及び人材育成
◆収益事業
収１　駐車場の運営等に関する事業
収２　大会、集会、会議等芸術文化以外の施設運営に関する事業
◆法人会計
法人　法人の運営に関すること

（参考資料）

第４期指定管理（令和３年度～令和７年度）における財団の理念、ミッション

【財団の「理念」と３つの「視点」】

１．財団の理念

〇私たちは、その想像力と創造性を活用し、芸術文化の価値を高めます。

〇私たちは、芸術文化の力で、地域に生きる人々の心を豊かにし、幸福な社会の実現に貢献します。

２．３つの「視点」（財団の理念に次の３つの視点を持って向きあっていきます）。

視点１「革新性」：革新的な思考や活動を通じて、新しい価値とさまざまなあり方を認め合う、豊かで柔軟な社会をめざします。

視点２「国際性」：国際的な創造発信を行ってきた「神奈川」という地域の特性を発揮します。

視点３「多様性」：基本的人権を尊重し、平和を希求する社会の実現に寄与します。

【財団の４つのミッション】（上記、「理念」のもとに、定めた４つのミッション）

■ミッション「創造に挑む」

・芸術文化の価値の追求
・多様な価値観や美意識、表現の自由に基づく作品の創造
・古典作品の再発見と伝統の継承
・劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）が示す公共劇場のモデルを体現

■ミッション「感動を分かち合う」

・自宅でも職場・学校でもない、人びとに開かれた「第３の場所」としての文化施設の実現
・豊かな芸術体験の提供、多様な芸術文化の紹介
・広域ネットワークの構築
・神奈川県内の地域文化の活性化と偏在の解消
・文化施設の維持・運営を通し、あらゆる人々の鑑賞や創造活動を支援

■ミッション「つねに考える」

・新たな行動に結びつく公正で適正な評価と組織整備
・社会と芸術、時代の多面的な検証
・芸術文化の公共性や可能性の考察
・文化施設の公共性や可能性の考察

■ミッション「未来につなぐ」

・芸術文化の担い手の育成
・次世代への継承
・創造性やコミュニケーション力を養う教育の拠点

附属明細書

令和７年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はございません。